

新型コロナウイルス感染症による 芸能・映像業界で働くスタッフ、キャストへの 影響実態調査アンケート

現場で働く 1,715 名の声

自由記述回答のすべて

回答者615名

◆設問 Q13 「最前線で働くスタッフ、キャストとしてなにかコメントがあれば是非ご記入ください。自分たちを守るためにできることなど、アイデアがあればそちらもお願ひいたします。」の自由記述欄に記入した方のなかで「記入して頂いた内容を、結果に掲載してもいいですか？」という設問に「はい」と回答した方のコメントのみ抜粋した一覧です。

◆回答者 715名

結果掲載可 615名

◆自由記述のワード抜粋

自由記述の中で使われたワードとその数

仕事	164 件
フリーランス	100 件
コロナ	84 件
組合	57 件
国	71 件
補償	66 件
ギャラ	54 件
契約書	50 件
支援	46 件
日本	44 件
不安	37 件
ユニオン	35 件
中止	31 件
労働組合	25 件 (組合と一部重複)
延期	22 件
お金	15 件
金銭	15 件
労働環境	7 件
キャンセル料	6 件



性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	40代	演出部監督	フリーランス	この業界は、元々報酬が少ないので、普段から、もっと報酬をアップして、一年は何もしなくても耐えられる。それくらいの状況になつたらいいですね。
男性	50代	ヘアメイク	会社員	ポストコロナにおける賃金向上と生活の安定
女性	40代	ヘアメイク	フリーランス	長引く際の、ギャラの保証をしっかり行って頂きたいです。
女性	30代	衣裳	フリーランス	もともと金額が安い仕事は受けるべきではない。
男性	60代以上	撮影 照明 編集	フリーランス	デジタル化によって製作費が減少、省人化しているがスタッフ個人のギャラも30年前から頭打ち、最近は更に減少している。各個人も「仕事が無いよりは」と安いギャラを受け入れずに最低賃金の切り上げを目指し、企業は製作費が減っても人件費を減らさざる努力をするべきです。
女性	40代	無し	フリーランス	発注業務が中止になった場合拘束日数分の保証金を出すようにしてほしい。
男性	40代	監督	フリーランス	収入の高い場所は各々が貯金をしておけばいいと思います。ですが、演出部、制作部は基本の賃金を上げるべきだと思います
男性	50代	映像オペレーター	フリーランス	自己責任外の収入減少に対するセーフティネットが欲しい
男性	40代	制作技術	会社員	仕事が再開しても不況はつづくと思いますが、下請けに対してギャラのダンピングをしないでほしい
男性	30代	撮影助手	フリーランス	映画を作っている際、全ての撮影が終えた後に、「実は今お支払いできる人件費が無くて、1ヶ月ほど待っていただけますか?」と言われ愕然とした。撮影準備金として確保された状態で人を雇わないと詐欺と同じだと思います。しかも全ての撮影が終わった後に言うなんて。制作会社のプロデューサー達は、ちゃんと契約書を作て口約束じゃない形で人を雇うべきだと思います。すでにそうしている会社もありますが、徹底して全ての会社にやっていただきたいです。CMの撮影で言いますと、ロケハンに参加すると人件費が出て、打ち合わせに参加しても人件費が出ない。この差はなんなんでしょうか?そういうことを、制作会社に言うと疎ましがられるので、言いづらい雰囲気になる。時間を拘束する限り、労働になるわけですからその基準もきちんと作って欲しいです。ぜひ掲載してください。
男性	40代	プロデューサー 演出	その他	テレビ局社員との収入格差は正をお願いしたいです。これからCM収入が減っていくはずなので、制作費の引き締めがより厳しくなると予想されます。アイディアで安く番組を作ると言っても、結局制作会社は利幅を下げているのが現状なので、現状調査に乗り出してもらえるとありがたいです。
女性	40代	脚本家	フリーランス	準備期間が長いうえ、完成しないとギャラが振り込まれないため、去年一年間の苦労がすべて無駄になる。我々の場合、失われるのは「今」だけではありません。一部前金とか、慣例としてくれると助かります
男性	20代	演出部 助監督	フリーランス	数ヶ月ではなく、年単位で継続して仕事に影響があると考えています。病気、家族の訃報、現場での事故等があつても、精神論で片付けようとする風潮があつて、これは誰もが知る事であるた考える。この業界の状況を考えると報道されたくないコロナへの感染者はいると思うし、そこへ出演者、スタッフを派遣する会社は渋るのは理解出来る。思った以上に撮影隊が動きを止めるのが遅かったなと感じたところであった。もし、コロナが収束しても、再開は直ぐには出来ないと思っている。準備も多くの方の協力が必要ですし、ロケ、ロケセットは貸出してももらえるのか、セットは外からの監視が無いからと言つてギリギリまで撮影していた事実があることから感染対策をしっかりして、かつ出演側の理解を得られなければ出来ないと思う。また、そういう事を除外して、立場的に弱い出演者やスタッフを集めて作品を作ろうとする事が起る可能性を懸念しています。また、更なる予算の削減、経費削減の為の人員、準備期間、ギャラ、撮影道具等の削減は誰もが危惧しているのではないかと思う。このようなリスクを避ける為にも、フリーランスの人は特に、副業を考える必要があると思います。技術スタッフは活動日数がギャラに反映される事が多いと聞くので、作品の掛け持ちやローテーションを組むなどをこれまでの労働環境改善に取り組んでいる様子が伺えました。正直、同業者でありながら他部署の本当の現状を知らない為、解決策が思い当たりません。言及する前に演出部、制作部に対する今までの状況を言うと、基本は拘束期間・1ヶ月単位ギャラが発生します。個人的には、これは労働対価への支払いではなく、作品貢献への期待に対する対価であると考え、また、休日の決まりはなく、個人の裁量による、といったところで、これは理解できます。しかし、風邪で休むと一方的にその日数分減額をされ、それは事前に報告されず、その時のギャラの請求書提出時に初めて言われます。基本的に契約は、ギャラ金額を書いた請求書のみである事が多く、たまにアイドル系が関係する作品ですと、情報漏洩に対する誓約書がありますが、労働関係の契約書は無く、なんと無くの常識と誰が教えてくれるでも無い慣例で縛られています。休日は個人の裁量と言うものの、初めの2週間は週一で休める事がありますが、その後はオーディションなどが入りますので、1日のうち、午前中だけ休むとか、外出して仕事をし、その中に何とか時間を作り休むなどになります。この状況から、演出部、制作部は副業に対してあまり考えられない人が多く、実質的には難しい状況でした。見習期間の者に関しては、同じ拘束期間であるにも関わらず、生活を保証する金額は貰えず、副業やアルバイトも先に述べたように実質的に出来ない状況でした。これは、昔から金額は変わらず、昔に対して物価上昇した現在も金額が変わらないところです。勉強期間だから、といって拘束期間も周りのスタッフと変わらず、人員が足りない為、使い倒され、精神・身体的に病み、辞めるのが続出しています。話は脱線しましたが、業界再開を待ちわびる一方で、予算削減による影響で、より一層スタッフへの待遇、言い換えると作品への待遇が厳しくなり、現状の最低限が最低限以下に落ちるのではと懸念してます。
男性	50代	助監督 演出助手	フリーランス	我々、映画業界のスタッフのギャラは考えられないくらい安い。名の売れた役者陣は驚くほど高いギャラをもらっている。少しでも見直してもらいたい。
男性	50代	映像部 部長	会社員	ギャランティやキャンセル料等の基準を明確にする事。また、その徹底化
男性	40代	ラインプロデューサー	その他	月単価を下げても、今回のような事態が起きた場合に、ある程度先々まで補償されるような仕組みが望まれる
女性	40代		フリーランス	テレビのディレクターですが、専門職なのにギャラが安すぎる。また、実働していない制作会社を、形だけでも通していくらか抜かれる悪習はやめてほしい
男性	40代	照明	フリーランス	ギャランティの底上げ
男性	30代	助監督	フリーランス	こんな状況だと自分の生活を考えると低額になんでも仕事を受けないといけないというスタッフの方もいらっしゃることが不安です。そういう方がある種のギャランティのベースを低額にすることで、業界全体の人件費削減に拍車が掛かるという心配です。こんなときだからこそ、フリーランススタッフが一丸となって、最低額の要求をしなくてはいけないと思います。それこそ昔の撮影所のように作品を止めてストライキを起こしてでも。むしろギャランティに関しては全員が最低額ではなく、高い質の仕事をしている方はもっと高額になるべき仕組みを考えたいです。単純な比較では判断できないとは思いますが、海外の映像スタッフと仕事をしていると彼らは皆プロフェッショナルであり、エリートであり、なによりも高給取りです。対して日本のギャランティはとても夢のない金額で、作品のトップである映画監督が場合によっては自分たち助監督よりも拘束期間に対する低額の報酬になっており、しかもその状況がインターネットで簡単に検索できる時代です。これを見た者は若者はこの業界に入りたいと思うでしょう。作品のトップである監督がその金額では自分たちスタッフのギャランティも底上げを交渉しなく、この先どんどん劣悪になっていく不安が大きいです。大きな予算の作品では仕事の質によって何千万円もの影響を与えるポジションの方のギャランティが、仕事の優秀な方とそうでない方とでも相場による金額を前提とした給料体系で金額がある程度決まっているという部分も悪い影響を与えていると思います。制作会社はより少ない金額で提示していらっしゃるから、資金の底上げは我々フリーランススタッフが一丸となって取り組みないと難しいのかなと。そういうのが苦手な方もいるでしょうから、組合やギルドなど既に既存している団体が機能していないので、、、)において、もしくは海外みたいに代理人やエージェントみたいな存在も含めて必要になってくるのかなと思います。仕事の質が高ければ高額という他業者のフリーランスでは当たり前前の仕組みがないうえに、どこも人手不足ではあるため仕事がある程度溢れています。そのためそんな方はいないと信じたのですが、ある種手を抜いていても報酬額はさほど変わらず、また仕事も継続して受注できるという仕組みや状況になっています。これは明らかに各人の仕事の質の低下、作品の質の低下を招き、それが質の悪い映像作品の完成、興行収益の低下という結果に繋がり、そして未来の作品の予算が削減されていくという負のスパイラルに陥っていると思います。自分はその意識で仕事をしているので、ギャランティ交渉も強気で上げよう試みていますが、自分よりも質の高い仕事をする大先輩たちが低額で受け続けている状況では、金額に頭打ちを感じます。また自分が上がらなければ、自分の部下も上がらないため、若い子たちの意識やモチベーションも下がっていきます。自分は1人でもこの状況に自分の部下を守る為に闘っていますが、フリーランススタッフ全体でそういう風潮がもっと生まれてくると結果がついてくるのかなと思います。制作会社やフリーのラインプロデューサーそんたちが安くて質の良いスタッフを集めたい気持ちちは分かりますが、その行為一つ一つ私たちの首をも絞めていることになるのではないかということ強く感じます。大きな予算の作品を任せせるスタッフには、低予算の作品を任せたスタッフよりも高額なギャランティを割くことは当たり前だと思うので、そのような風潮が生まれることを願っています。
男性	30代	照明	フリーランス	作品の予算に関係なく、各部署、各ランクのギャラ金額は統一すべき。そして、契約書を交わし、現場のスケジュールや安全体制においては一定のルールを設け、労働環境を整えていかなければ、この業界の未来(若い人たちへの継承)は見えて来ない気がします。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	40代	撮影	フリーランス	予算など感染を広げないための努力も必要。でもキャンセルの時はキャンセル料は支払って欲しい。
男性	50代	プロデューサー	フリーランス	仕事が延期になっても仕事量は変わらないからギャラは同じと言われたが拘束期間が延びているのだから、その分は考慮して貰いたい。
男性	40代	カメラマン	フリーランス	私自身はカメラマンで現場の人間ですが、今まで以上にスタッフの手数料の単価が低くなると思っています。正直これからこの仕事で家族を養っていくなくなるのでは無いかと思っています。
男性	50代	ロケーションコーディネーター	その他	専門職なのに他業種に比べて時給が安すぎる。いつ仕事が無くなるかわからないのだから、もう少し時給の底上げをしたい。そう思って高値でやってきたが、周りが付いてこないから結局価格競争になる。
女性	30代	演出部	フリーランス	リモートで作成できる映像表現もゼロではなく、私自身それに着手してはおりますし(と言っても支援等ないので全員ノーギャラですが)、業界全体において既にそのような動きもありますが、やはりそのような映像に出来ることが限られているのも事実。本来であれば、どうしても人が対面で集まらないと為し得ない仕事ですから、この状況下で仕事がなくなるのは仕方ないという気持ちもあります。ただ元々が、ギャラの良い仕事ではないので日々の収益がある訳でもなく、このように収入がストップしてしまうと、生きていけなくなってしまいます…まずは生きていく為にお金を得る術が欲しい、というのが本音です。仕事を再開出来るようになった際には、これを機に給与体系、働き方の見直しが行われれば嬉しいです。やはり休日もなく、睡眠時間2時間で2か月ぶっ通し、等無理な働き方もしてますので、今頂けている金額が割にあってるとあまり思えていません。
女性	30代	制作部 制作主任	フリーランス	フリーランスの予定を抑えた場合、拘束日前に中止や延期になつても一定の期間分の賃金は保証してほしい。
女性	30代	美術部	フリーランス	収入がゼロになり、生活できない。
男性	40代	トレーナー	その他	予定していた公演に対してのギャラの補償
男性	40代	アナウンサー	フリーランス	これを機に、出演料を減額しようというテレビ局などのクライアントが多く出てきそうです。その減額をなくす、或いは最小限に留める仕組みがあればと思います。
男性	40代	個人事業主	フリーランス	イベントの開催や中止に関係無く依頼を受けた時点でギャラの半分は前払いして頂きたい。
女性	30代	小道具 装飾	フリーランス	美術、装飾、小道具パートの地位&ギャラの向上を願っています。技術パートに比べ、撮影中の立場もギャラの面でも、もっと主張していくてよいと日々思っています。低予算、準備の短期化、少人数体制…、厳しい体制の作品が増える中、それに見合った対価をもっと声を上げてもらえるようにできたら。と日々思っています。
男性	40代	照明部	フリーランス	拘束期間のギャランティーの保証。
男性	40代	バンドリーダー	フリーランス	ライブハウス出演を主としていたミュージシャンです。もちろんお店からなんの補償もありません。雇用契約すらありませんでしたので、どうにもなりません。出演を予定していたスケジュール分は雇用調整助成金のようなシステムでミュージシャンへの支払いがあれば有り難いと思う。
男性	30代	カメラマン	フリーランス	1ヶ月半無収入です。仕事できません
男性	40代	装飾	フリーランス	フリーである以上仕事が無ければ別の仕事を探すしかないと思ってますが補助金を支給されるなら差別ないようにして欲しい
男性	40代	音響部	会社員	自粛を要請されたのは真っ先にコンサート、イベント業界。他の業種より長期間仕事が無い状態だと言うこと。学校、保育園等で預ける先が無くて仕事に行けない方々より、仕事が無くなった人達の方が手厚く支援をして戴けることを望みます。
男性	40代	演出	フリーランス	他の国に比べ芸術に対する支援が少ないとことに対して、日本の文化を存続したい意志があるのであれば一考して頂きたい。
女性	40代	俳優	フリーランス	国が真剣に文化芸術支援をすべきだと思います。
女性	20代	監督	フリーランス	映像業界は金銭面や労働時間など、潤沢ではない事がほとんどです。スタッフ不足も年々深刻化しています。私のようにフリーランスで活動する人間も多い業界ですので、新型コロナウィルスの影響により身動きすら取れず、経済的に困窮している方も多いかと思います。今日・明日を生きる為の金がなくては自粛もできません。政府には早急な対応を望みたいです。そもそも今回の事態がなかったとしても、本来ならば文化事業として国からもっと支援されるべきだと思います。(韓国映画『ペラサイト』によりその事が明白に示されました)政府には日本の映画、ひいては芸術文化の未来を見据え真っ当な対応をお願いしたいです。
男性	30代	撮影部 撮影チーフ	フリーランス	政府からしっかりととした月々の休業手当でが補償されることを希望します。そして、この機会に政府などに交渉してもらうための組合などが設立されるとさらに嬉しい。その組合は今後、フリーランスの手数料などの規定や労働環境の是正に役立っていって欲しい。
男性	50代		フリーランス	休業補償
男性	50代	カメラマン	フリーランス	政府よりイベントの自粛要請が出されたので、政府による休業補償を望みます。
女性	40代	編集部	フリーランス	この感染症の為に仕事を辞めたり諦めたりする方々がいるというのは悲しい事です。大多数の人が日々食べていける位の支援をお願いしたいと思います。中々早期の収束が離しそうですが何とか食いしばって仕事を続けていく事ができたらと思っております
男性	50代	音声 録音 サウンドデザイン	会社員	仕事が無いと生活がもたないので、生活を維持していくための手段を考えなければならないことと、高校大学へ進学する子供達の教育費への助成を国に手厚く行って欲しい。
女性	50代		フリーランス	とにかく早く経済的救済をしてほしい。文化も死に行き、この仕事をして生きてきた人の尊厳さえも奪われる。
男性	40代	監督	会社員	映像業界で働く人たちは優秀な人が多く、他のお金が稼げる仕事を選ばず、あえて難しい映像の仕事を選んでいる人たちが多いと思います。それは日本や世界の映像文化への憧れや、個人の高い理想があるからだと思います。映像関係者の能力は長い年月の鍛錬によって培われてきたものです。そういう人たちの仕事が続けられるようにすることは、国の文化的な力に大きな影響を及ぼすと思います。他国に比べ、日本は映像業界にほとんど今までサポートしてきていません。こういう危機くらいはしっかりとサポートするべきだと思います。それは日本の映像文化を続けていくという大きな意味があると思います。
男性	30代	撮影部 セカンド	フリーランス	外出自粛という事で自宅では映画などを見て楽しめている人が多いと思います。そしてその、楽しんでいる映画を作っていたのは紛れもなくフリーランスである我々が中心なので映画業界にも公的な補償を受けられることを望みます。
女性	50代	シナリオライター スクリプター	フリーランス	補償が少しでもあれば家賃が払えます。借りるのは返すのが大変なので難しいです。
男性	40代	会社代表	その他	国や県がこの職業に対しての理解を深め、損失に対しての補償と今後の支援を早急に打ち出してほしい。
女性	50代	役者 脚本家	フリーランス	所得が一定金額以上の者には、個人事業主の開業届が出て無くとも、同じような救済をうけさせて欲しい。
男性	50代	ビジュアルプロデュースグループ	会社員	映像業界はフリーランスの方々の力なくして成り立っていない部分があるので、まずはフリーランスの方々への支援・方策を早急に検討して頂きたい。その後に企業への検討・支援。
男性	40代		フリーランス	フリーランスに対する保証を国が考えて頂きたい
男性	50代	代表	フリーランス	休業保証など
男性	40代	俳優部	フリーランス	日本のエンターテイメントの文化をリスペクトしてサラリーマンのように保証を考えてください。
男性	40代	舞台監督	フリーランス	人を集めでなんぼの業界なので、一番再開が難しい業界であり、支援はとにかく必要 本当に助けて欲しい
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	ある意味今回自粛を選んだクライアントさんには感謝しております。逆にこのような状況で強行突破をしようというクライアントさんの方が信用は無いです。仕事が無く、残念でもありますが、再開後にまた仕事が出来るまでは辛抱なのと、国からの保証があれば良いなと思います。
男性	40代	照明部 照明技師	フリーランス	業界としての補償が欲しい。
女性	50代	監督	フリーランス	クリエイターはその技術の対価として、ギャラをもらっている。その技術と文化をいかす事業を国が作ることで、クリエイターも守られ技術も守られる。これは、緊急である。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	30代	映像 平社員	会社員	コロナが収まるか、かかってでも経済活動再開宣言が出ない限り業界の80%は潰れると思います。自分たちを守るためにには、国からの保証が無ければ無理だと思います。フリーランスもですが辛いと思いますが。会社員は会社員で中小は給料減らされて、高い税金払わせられて、別で自分の収入を増やすためのバイトも出来ません。その辺を改善して貰わないともなりません。バイトは探せばいくらでも見当たります。でも出来ません。会社員なので。辞めればいいですか？そしたらそれなりの失業保険頂けますか？保険が終わりますよね？じゃあ、貰えないですよね。中小とかにはこうして対処お願いします的な明確な基準で国に対処して貰ないと。各々にまかせますが過ぎます。
男性	40代	ディレクター	会社員	あまりに政府の対策がお粗末。もっと弱者目線の政策をして、補償と自粛を両立して欲しい。これは、ポピュリズムではない。命の問題だ。
男性	30代	技術部 カメラマン	会社員	国の保証をもっとしっかりとしたい。これを機に国の会議など各都道府県からの議員など人を集めてやる会議はなくして、全て配信にし、移動や宿泊などのお金は浮かせるべきだと思います。
男性	30代	演出部	フリーランス	前年度との比較が出来ないと思う月で比較した場合元々仕事が無いもしくは入金予定が無い月が不規則だから
女性	30代	プロデューサー	フリーランス	外出自粛になった今、みなさんは何をして過ごしているでしょうか？多くの方が、テレビや配信で映画やドラマなどを観て過ごしているかと思います。そういったものが何一つなく、外出せずに過ごすことを想像してください。それらがあなたの生活を支えていることを実感できると思います。今、それらを作っている人の人生が脅かされています。スタッフ、キャストが安心して生活できこそ映画やドラマは制作出来ます。文化はいつも後回しにされますが、まずは安心して暮らせるだけの保障をお願いしたいです。
男性	40代	プロデューサー	その他	中止を要請されたものへの補償
男性	50代	代表取締役	会社員	とにかく仕事が動くからお金が入ってこないと業界全体が止まっているので、このままだとお金が尽きて廃業がざるを得なくなりますし、すでに家族も社員も路頭に迷いそうです。
その他	60代以上	編集	会社員	窓口に駆け込むことで想定できるクラスター感染を防ぐためにも給付や借入の手続きをネット納税のように簡便化して欲しい。修正は今後の税金で調整すればいいのでは。
男性	40代	代表取締役	その他	本当に感謝しています。是非とも国から金銭面の多額の支給をしてもらって下さい。
男性	40代	フリーランス	フリーランス	国のフリーランス補助金に期待
女性	30代	出演者	フリーランス	飲食店など休業した場合に給付が出る都道府県もあるのなら、実質休業となっているイベント会社やフリーランスタントへの給付も考えるべき。
男性	40代	劇作家 演出家	フリーランス	どうか文化芸術を国が守ってほしい。
男性	40代	クリエイター	フリーランス	今はイベント系が壊滅的なので政府をあげて施設などの利用料を無償化・保証をし、ストリーミングなどでの利益をあげさせる努力をするべきです。イベントが元気になると最終的に広告にも普及します。
男性	60代以上	プロデューサー	会社員	国の施策(文科省、文化庁)のフリースタッフにたいして、具体的な支援対策の提案がない！！無理かな？でも、私たちは生きて行きます。その証が映画だと思います！表現だと理解します。
女性	30代	カムラマン	フリーランス	この状況が続くと給付金だけでは税金すら払えなくなるので、税金類もなんとかして欲しい。
男性	30代	カメラマン	フリーランス	フリーランスは仕事が減少している証明を提示しづらいし、特にこの業界は電話一本で仕事を受けることが大半なので、補償の対象から外れてしまうのではないか心配です。一律の補助を求めます。
男性	40代	演出映像ディレクター	その他	給付金制度など様々な方面でのサポート
男性	40代	俳優	フリーランス	今回に限った支援ではなく、文化活動として恒常に予算をとって、国レベルでの認知・助成・育成を支援してほしい
男性	40代	制作部 マネージメント部 代表取締役	会社員	エンターテインメントへの助成金が少なすぎる今後は、フランスを見習って欲しい！
男性	40代	ドрамা (ディスコのハウスバンド)	フリーランス	ミュージシャンは演奏する事が出来なくなるとその分収入を得る事が出来なくなり、生活に困窮します。生活に困窮しない為の補償制度の確立が急務だと思います。ライブハウス、ライブバー等も同様です。コロナ収束後も安心して再開出来る様な補償制度を同様に設けるべきかと思います。
男性	40代	プロダクション代表	その他	作品に対する国からの金銭的援助
女性	50代	俳優	その他	生きる権である芸能に国がもっと援助してほしい。
男性	50代		フリーランス	新型コロナウィルスでは多大な収入減になりました。TV収録、イベント等の中止、延期。キャンセル料金等の請求は出来ず、日々の生活に不安を感じています。一般企業の会社員と違い、フリーランスの弱みが出た。フリーランスへの支援を考えて頂きたい。
女性	20代	音響エンジニア	フリーランス	エンタメ業界は、今は不要不急とされていますが、必ず必要な時がきます。それまで、技術者として待ちたいですが、待てる金銭的余裕がありません。でも、それで全員業界を離れば、それこそエンタメ業界のおわりです。復活できるよう、また皆さんに楽しみを提供できるよう、金銭的補償をお願いします。
男性	40代	カメラマン	会社員	取材時に色んな場所に行くし、色んな方と接触します。マスクの着用や手の消毒を徹底しています。また、人が密集しがちな所には仕事以外には行かない事。でも、マスクの値段の高騰で家計にかなりの負担が。また、消毒液の入手困難。それらの問題は早く政府と自治体が解決して欲しい。
男性	30代	俳優	フリーランス	まず、コロナウイルスの影響で仕事の延期や中止になってしまうことは致し方ないと思う。ただ、補償がない。政府は早い段階からライブハウス、劇場などの場所へ行くことを自粛、営業自粛を求めていた。しかしそれに対する補償については打ち出さない。また、劇場によっては公演を中止しても劇場費は全額興行主が支払うこと。公演を開催するも観客減少の収益が得られない。中止するもキャンセルにあたり金がかかる。やるも地獄、やらぬも地獄。また収益がないため、キャストやスタッフへの賃金の支払が難しくなる。あきらかに悪循環。あれだけ政府は自粛を呼びかけているが、補償がなさ過ぎる。様々な所で述べられているが、「自粛と補償はセット」があまりにも実現されていない現実。経済の事にウエイトを置いている場合ではない。国民の命と生活を守るためにと言っているが、生活は守らない。税金でメシを食ってる議員や閣僚。我々はクライアントや興行主から雇われて対価を得てシミを食ってる。議員や閣僚は我々国民に雇われて対価を得ていると思って欲しい。今のやり方では対価を支払うだけの価値はない。我々の税金を返せと言いたくもなる。現在きちんと誠意をもってやっていると国民が実感しているのは中央省庁ではなく、それぞれの自治体や民間である。言い換れば現場に近い人々である。正に「事件は会議室で起こってるんじゃない。現場で起こってるんだ！」である。もっと現場の状況を見に来て、スピーディーな対策を願う。我々の業界は確かに生きていくためには必要ないと思うが、文化の継承や人々の癒し、励みには大いに貢献していると自負している。
男性	40代	楽器演奏	フリーランス	自粛と補償はセット。そうじゃないなら殺人。
男性	60代以上	舞台演出 監督 制作	フリーランス	政府のコロナ対策としてイベント、ライブなどの中止延期要請する場合は補償を前提にしないと関係各所スタッフの収入が激減するのは目に見えている。金額補償ができないので有れば係る税金の軽減処置をそれから国会議員歳費は1/3にするべき。
女性	40代	ホールマネージャー	その他	ライブハウスの復活を求めるお客様は沢山いるが、そうでない一般の方々のライブハウスのイメージが払拭できず、批判される事が個人的には辛い。携わっているスタッフやミュージシャンがそのような目に晒されないよう、国や行政のバックアップが欲しい。自粛に応じたのだから、その分の補償をお願いしたいです。
女性	30代	スクリプター	フリーランス	私達の仕事は無くしてはいけないものだと思っています。その為に、自分自身も出来ることをしていきますが、政府も支援をして頂くことを希望します。
男性	50代	映画ライター	フリーランス	とにかく我が国の政府の失策に愕然。今は、あと何ヵ月生活できるか切り詰めていくしかないけど、何かしら良い方法があるなら教えてほしい。とりあえずは、國からもらえるものはとことんもうら、、借りられるものはとことん借りるつもりで申請をしていくつもりです。
女性	40代	パフォーマー	フリーランス	エンタメはこのような場面で最初に自粛を余儀無くされ、なかなか立ち直りたいた後も、なかなか復活出来ないものです。ですが、人の心に寄り添つて応援するのがエンタメです。このままでは劇場やライブハウス、映画館、イベント会場がどんどん無くなってしまう。どうか早く救済してほしいです。活動自粛要請に対して保証が無さぎます。光熱費、会場維持費などだけでも補助があれば助かると思いますし、公演中止に対してチケット代で回収予定だった訳で、すでに会場費(稽古場含む)や宣伝費、道具、衣装などの出費があるわけです。どの仕事も同じだと思いますが、働いているのは人です。どうか娛樂だと切り捨て無いでください。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	40代	照明技師	会社員	国がこの業界の労働状況の把握やサポート等を考えてくれないと、世界にどんどん遅れを取ることになると思います。
男性	40代	日本ボイスエクササイズ 協会代表	その他	国会議員の給与を、給付や助成金にまわしてほしい
男性	40代	カメラマン	フリーランス	映画館、スタッフ、キャストへの補償が無ければ映画文化は消滅してしまいます。どうにかして欲しいです。
男性	50代	俳優	フリーランス	仕事が一切無い状態なので生活がままなりません。直ぐに頂ける仕事ではないので先の事を考えると精神的にもきついです。長期化の場合(今もですが)月最低20万円の継続給付金を希望します。そうでなければ生活は出来ません。宜しくお願いします。
女性	30代		フリーランス	技術スタッフへの金銭的支援をお願いします
男性	40代	美術部	フリーランス	日常的に政府から映画産業に対する支援が不足している。働き方改革は、社員スタッフだけでなく、日本で働く全ての人を対象にすべき。低賃金、長時間労働、契約書なしが普通の状態。一日も早く、欧米や韓国映画産業の労働基準レベルになるよう、国として対策をし、製作会社はそれを遵守してほしい。
女性	20代	照明部	フリーランス	撮影現場は東京都知事が危機と発表した三密があります。それは避けられない事態です。このコロナの脅威の中で撮影をするのは困難を極めます。ましてやスタッフの高齢化も進んでおり、現場によっては大御所俳優の方々もいらっしゃるでしょう。コロナにかかるからでは、もう手遅れになります。今映画業界全体はほぼ撮影は自粛、開始するのも緊急事態宣言が解かれてから考える、といった曖昧なものです。膨大な人間とお金がかかることですから、開始日程が曖昧なのは仕方のないことです。制作会社で補償しある、とも言いたくあります。映画の撮影をしなかったことによりお金がさらに必要になることは明白です。なので我々は国への補償を求めます。映画を制作するにあたって、スタッフはフリーランスでなければいけません。フリーランスは曖昧です。非常に曖昧で危険です。こんなことになったら、補償してくれる保証すらありません。映画に限らず芸術を求める人間はフリーランスを求められます。それを国が守る意思があるのならば、まずは人間から守ってほしいのです。映画館も大切です。でもその映画を作っているのもまた人間です。その人たちの多くはフリーランスで、家族っています。会社に入らない不安も抱えながら、家族を日々養っています。この補償がない中で、仕事もなく、どうやって家族を支えなければならないのか。私たちはがんばります。補償に。だからどうかお願いです。芸術の火を絶やさないでください。私たちは映画を作りたいです。映画を愛しています。けれど生活ができない、愛する心も失ってしまう人がいるでしょう。多くはそうです。守るものがあるからです。どうか私たちに、家族も、映画も、守らせてください。どうぞよろしくお願いします。
男性	40代	プロデューサー	会社員	国の文化支援の強化
男性	60代以上	俳優	その他	感染拡大を防ぐ為に、絶対に甘く見てさつえや稽古を強行してはならないが、生活の保証などが無い限り、どうしたらいいか分からない状況は打開すべき。
男性	40代	代表取締役	その他	2月から全ての仕事が無くなり、コロナ影響を最初に受けた本業界へ國の支援を要望したい。
女性	30代	マネージャー	会社員	コロナがおさまるまで現場を止めて補償をしてほしい
男性	30代	制作部	フリーランス	飲食、サービス業をされている方々も非常に苦しい状況ですが、我々フリーランスで映画・ドラマを制作しているスタッフたちも非常に苦しいです。収入はゼロになりました。この状況をちゃんと国が把握して支援をお願いしたいです
男性	40代	代表取締役	その他	免に角、国からの補償が不十分でスピード感もない。企業に借金をさせて延命処置をするではなく、売り上げが明らかに落ちた月毎に、現金を給付して下支えをして欲しい。雇用調整助成金も申請が難しく、本当に受理されるのか未知数な上に、支給時期も不明な為、とても不安。
女性	30代	役者 プロアディレクター	フリーランス	前年や前々年の収入を元に、無利子の貸付けや、給付金があると有り難いと思う。またそれにはスピードも必要かと思うので、これを機に、マイナンバーをもつと利用する何か(使い方やセキュリティの提示も必要)を整備し、また個人個人も、ある程度の個人情報の提供に対する意識の改革が必要かと思う。
男性	50代	演出 脚本	フリーランス	この業種に限らず、迅速かつ適切な補償を強く望む
女性	50代	キャスティング	フリーランス	芸術系でフリーで働くものたちも、フランスやドイツのような休業支援できる仕組みを作るべきだと思います。国や自治体の支援もだけれど広告代理店や映画、テレビ業界団体も支援の基金を業界全体で立ち上げるべきだと思います。コロナにかぎらず、これから多くの災害が起こる可能性があり、未来に向けて対策すべきだと思います
男性	30代	製作部 代表取締役	会社員	基本的にはフリーランスなどは自己責任の考え方です。うちは法人をしてるので社員を守らないといけない部分はあるし、厚い支援対策は助かります。とにかく広告は社会情勢に飲み込まれやすくなる影響を受けやすいため激減するのでたとえば、緊急事態制限発令時でも、特別処置などを考えていただける。コロナ対策のガイドラインに従えば撮影できる旨などを発信してもらえると助かります。
男性	50代	美術装飾	フリーランス	何よりもスタッフとキャストの安全を最優先させるべきで、結果的に自分が関係していた作品も中断を余儀なくされてはいるが、もう少しその判断を早めに出て欲しかった。
女性	30代	制作部	フリーランス	緊急事態宣言がされ、ようやく大方の現場は中断しましたが、会社、プロデューサーには冷静な判断をしてもらいたかったです。色々な対応などを聞いてみるとスタッフを駒扱いしているのでは?と感じるのとが多かったです。自分の身は自分で守る、それを強く感じました。
男性	30代	装飾	フリーランス	現場のスタッフに対して発注・指示・命令する立場のプロデューサー達の相当数が新型コロナウイルスに関わらず感染症や社会情勢に対する理解や認識が甘い人間が多い為に、政府の緊急事態宣言の発令される日のギリギリまで撮影行為を続行しようとした作品がかなり多い。また発令後でも5月6日を目処に即刻の撮影再開を予定する組があり、感染症対策では無く世間体を気にしての中止でしかない事が明らかである。現場でのスタッフのケアは殆ど考慮されておらず、消毒液の設置とマスクの配布くらいが万が一で現場で感染した場合の補償等は一切約束されていない。また自分が参加していた組(日本テレビ美食探偵の現場)では現場スタッフとプロデューサーとの話合いの場が持たれたがプロデューサーは「来たくない方は止めないので来ないで結構」と言い放った。フリーのスタッフは下請けのような立場であるために選んで良いと言われても仕事があるなら来ざるを得ないと考える人間が大多数である事を考えても、これは「やり甲斐抜群」そのものである。
男性	30代		フリーランス	どういった条件ならイベントを再開してもオッケーなのか、ガイドラインが欲しい。
男性	40代	録音部	フリーランス	いつになつたら撮影を再開できるのか、また撮影中感染者が出た場合の対処法など明確なガイドラインが必要。免疫力を落とさない為の十分な睡眠時間の確保が必要。撮影時間の厳守も必要になるのでは。
男性	30代	照明部	フリーランス	緊急事態宣言の期間に仕事の話をきた。万が一の感染リスクの話をしたところ、最初は責任はとるようなことも言っていたが、最終的には「万全の感染対策をするのでそれはありえない」とのことでの、はっきりとどういう責任をとるかが明示してもらえたかった。迷ったが家族と相談の上、今は仕事をするべきではないと断った。今後仕事を再開する時が来ると思うが、その際万が一の対応をどうするか、こちらが安心して働けるように対応して欲しい。
男性	30代	照明	フリーランス	規定のルールをつくるか、会社ごとに規定をつくってほしい。あと、予算ないのに、はじめないでほしい。根本的には、予算を集められるクリエイティブなプロデューサーを育てる環境が必要だとおう。ギルド見たい制度があつてもいいのかもしれない。
女性	30代	代表取締役 兼 ディレクター	その他	昨今は撮影を伴わない(または一人で撮れるツヅ撮りレベル)での演出構成のご提案をしているが、キャスト(モデル)を使ったイメージ撮影を諦めきれないお客様もいらっしゃいます。この状況下でもキャストたちを使った撮影をやると言われたら下請けとしてはやらざるをえないが、リスクが高く、不安が大きい。案件がなくなるのはもう仕方ないとしても、撮影強行だけは避けたく、お客様自身にも歩み寄っていただきたいとともに、行政としても「撮影の禁止」を明確に呼びかけていただきたい。
男性	30代		フリーランス	イベント再開する場合の対策基準の目安を公的に設置して欲しい。
女性	30代	制作部 プロダクションマネージャー	会社員	今の状況でスタッフを集めて映像を作りたいと思えないが、プロダクションがキャンセルすることはできない。クライアントが中止を判断してほしい。もしくは中止にする基準が欲しい。
男性	50代	助監督	フリーランス	撮影行為自体がいつ再開できるのかわからない。収束、終息は、どの状況で判断するのか? 誰がそれを判断するのか? 収入は無くとも毎月の出費はあるので、貯蓄がどんどん減っていく。
男性	30代	演出	フリーランス	映画・映像業界の中での基準・ガイドラインを誰が作り、企画から撮影から完成までの新たなグランドデザインは誰が描くのか。それが業界全体として電通しか思い浮かばない現状をどうするか。
男性	30代	撮影	フリーランス	緊急事態宣言解除後も何を持って撮影行為をよしとするか、そのためにすべきことについての統一見解を映像業界全体で出すべき。
男性	30代	演出部 助監督	フリーランス	4月に地方から出る予定だった若い人たちが、地方に留まつたままで。上京からしばらくの支援を何ができる仕組みがあると良いと思います。業界自体の再開がまちまちになるので、何が基準、或いは制約などがあると良いかと思います

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	40代	スタイリスト 衣装部	会社員	セリフ喋る俳優部のケアはどうしたら良いのか。現場で話して対応するスタッフは今後どの様にしていけば良いのか? afterコロナの世界でワクチンが出来るまでは前の様に撮影は難しいと思うのに、撮影をする際のリスクはどの様な契約でやっていくのか。業界で指針みたいな統一化しないと現場によってまちまちになりどうしたら良いかわからなくなりそうです。
女性	30代	装飾部 小道具	フリーランス	今まで必死に働いてきても、こういった事がおこったとき、働いてきた場所は何も自分をまもってくれないという事が、フリーランスなのである程度わかっていますでしたが、ここまでか、とショックがある。もっとスタッフが安心して働けるようなしきみがあるといいと思うし、契約書など、業界がコロナをきっかけに一歩すすめる事を願います。
男性	30代	演出部	会社員	スタッフとプロダクションの稼働前の契約書締結は急務。拘束されていたのに一方的にバラされて仕事を失うようなことがないように変革していくってほしい。
男性	20代	撮影 チーフ	フリーランス	このアンケートのように、業界全体がより結束していれば良いと思う。コロナ以降も、フリーランスのギャランティや、契約についても同様に。
女性	30代	スタイリスト	フリーランス	大手の制作会社では契約書がある所が多いが、ほとんどは具体的な契約書が無いままこれまで仕事をしてきた。今後何かあった場合、立場が弱くなるのは自分自身なので作品が途中で無くなったり等の補償はどうなるのかなど、しっかり契約書として残したいと思った。契約書のテンプレートなどがあると嬉しい。フリーランスが全員それを当たり前に持つて提出出来る様になるといいなと思う。ギャラの支払い期日など、普段言いにくい事などが記入出来たら助かるなと思う。
男性	40代	美術 装飾	フリーランス	このような(コロナ他)の事態が起きた時に何も請負先から支援がなく、自分自信で何とかしなくてはいけない状態。装飾業に関して言えば組合がなく、出来たら変わるかも。作品の受注、請負に関しても制作会社、装飾会社にて最低限の補償がなされるべき契約書が必要だと思った。
男性	30代	監督	フリーランス	このような不測の事態に備えて、補償・ギャランティ支払いに際しての、取り決め・契約書の作成等、を義務付けるなどフリーランスのスタッフ・キャストを守れるようなルールを作ていきたい。
男性	50代	演出 演出助手 助監督	フリーランス	製作会社は全てのスタッフと契約書を交わすべき。監督も企画準備段階からギャランティーを発生させて欲しい。
女性	40代	美術	フリーランス	私が、今まで携わってきた映画の制作現場での仕事は、常に請負い仕事です。いつも、頭を悩ませることが予算のこと、製作側のプロデューサーと相談しつつ、ある点で合意し進めています。少しづつ増やしてもらったり、変わらなかつたりと作品によって様々です。規模が大きいこともあり多額の予算を管理するのも、心労があります。やはり、個人で受けるにしろ、会社を通して受けるにしろ、制作会社との間に契約書を結んで、安心を持てた上で仕事に専念できることが、良いのではないかと思います。この仕事を20年以上続けてこれたことは、本当に感謝をしていますので、さらに個人の皆様が安心して、楽ししく続けていけるような環境になると嬉しいです。
男性	40代	録音技師	会社員	作業日より〇日前からのキャンセルでは、キャンセル料が発生するとの契約を交わす。また制作会社は、感染症特約を含めた中止時の保険に加入する
男性	60代以上	撮影監督	フリーランス	日本も仕事をする面では契約書が必要だと思う。
男性	40代	助監督	フリーランス	毎回どの作品もそうだが、撮影分量に見合う、撮影内容の台本になってないまま撮影を開始し、スタッフ、俳優に無理をきかせて撮影を終える行為は辞めさせないと、毎回ギャラを削り作品の為に使うからなどプロらしからぬ口頭契約で書面契約が無い状況は打破すべきで、作品が中止か延期になった場合でも、拘束期間のギャラは支払うべきです。
男性	40代	映像技術	フリーランス	フリーランスと契約書が必要だと思う。金銭面やキャンセル時の対応。
男性	40代	映像ディレクター	フリーランス	仕事依頼が電話一本、バラしも一本の電話のみ。今後は些細な仕事も全て依頼書を義務付けて欲しい。
女性	40代	演出部	フリーランス	十年以上契約書なしで仕事をしてきた。助成金の申請には契約書が必要なのできちんとした書面が必要
男性	40代	撮影技師	フリーランス	映画撮影業界としてはフリーランスのスタッフの雇用形態を抜本的に考え直さなければならぬと思う。制作会社との雇用契約を口約束ではなく、きちっとした書面での契約として厳格化する。
男性	50代	監督 企画 演出	フリーランス	作品単位で契約を取り交わさない日本のシステムを変えるべきだと思います。
女性	30代	美術部	フリーランス	契約書はあった方が良いと今回思った
男性	30代	撮影部 カメラマン チーフ助手	フリーランス	契約書を作るようとする
男性	50代	照明	フリーランス	そろそろ電話一本で仕事を受けるやり方を改めてもいいかなと思いました
男性	20代	撮影部	フリーランス	給付金・緊急融資の減収証明の説明が曖昧。福祉協議会に行ったら断られた。証明するにも契約書がそもそもないので、今後は仕事を発注する際に文書で残す文化を日本でも定着させるべき。
女性	30代		フリーランス	自分が従事していて中止になった作品は海外資本の作品で、拘束期間中の給与は補償された。海外のスタッフはユニオンやプロダクションに不安に思っている事をオープンに話せる関係性があったが、日本側にはそのようなものではなく、日本側のプロダクションやプロデューサーは日本人側のスタッフとは積極的にコミュニケーションを取らず、我々としては「誰も守ってくれない。自分の身は自分で守らねば。」という自衛の念が高まるばかりだった。コロナが終息し、仕事を再開した際には就業前に契約書を交わす事を徹底して、自らの身を守ろうと思う。(結果に掲載しても構いませんが、役職は伏せて頂きたいです。)
男性	30代	録音	フリーランス	プロダクションは事なきれ主義がすぎる。プロデューサーは、保身と芸能人に媚を売らずにスタッフの生活を守る為に戦え!まずはスタッフの雇用契約書を書面として作らないとこの様な事態になった時にスタッフは書面としての雇用を証明できないので、行政に働きかけることもできない!プロダクションはフリーランスのスタッフとの雇用契約書をつくれ!
女性	30代	プロデューサー プロダクションコーディネーター 映画祭コーディネーター	フリーランス	映像制作スタッフはフリーランスや契約社員が大半で、契約書を交わさずに案件に合流することが殆ど認識しています。私自身過去に契約書を交わさずに雇用主とトラブルがあつて以来、全ての案件で契約書の義務付けと行使を雇用主に了承頂いていますが、日本国内の制作会社とスタッフ間ではまだ口約束のみで業務を開始しているケースが少なくなつないように思います。海外のようにユニオンが無いことで、残業手当の保障もない上に、業務時間が連日長時間に及ぶことも多いスタッフの経済的負担は相当なものになります。近年コンテンツの制作量も急増している一方で、制作スタッフの労働環境の改善が後回しにされてきた背景がある中で、行政及び映像業界全体が今回の新型肺炎で露呈した問題に真摯に向き合い、制作スタッフやその家族の生活を守るために、将来に向けた実質的かつ有効な措置を議論していくべきと強く感じています。
男性	60代以上		フリーランス	口約束ではなく、契約の決めなど、書面での取り交わしが必須。
男性	50代	照明技師	フリーランス	今後 1つ1つの仕事で契約をしていかなければならない。
男性	50代	俳優部	フリーランス	少なくとも契約書を交わしたのち、仕事したい。
男性	50代	録音部	フリーランス	まず、契約書を交わす習慣を作つてもらいたい。最低限の保証を盛り込むと言う形のもの。この際、放送局主導の作品作りを考え直す必要があると思う。コンテンツを制作し、そのコンテンツを各放送局、ネット配信会社が買付する方式とか…あと、もっとシステム的にコンパクトにする事も必要かと思う。
男性	40代	ディレクター	フリーランス	契約書の作成を慣例としていくことは必須だと思っています。信頼というあいまいな言葉だけで、常にフリーランスは泣き寝入りを強いられていることが多いと思うし、自分も未払いや不払いを経験したことがあります。
男性	20代	俳優	フリーランス	良いものを作るために安全でなくてはならない。契約書を作る輩は無粹で仕事ができないという風潮を無くしてほしい。法の手を入れてほしい。
男性	20代	照明部	フリーランス	契約書や給与明細など出して欲しい
女性	40代	デザイナー	フリーランス	契約書を交わすことを義務付けたい。
男性	40代	録音	フリーランス	フリーランスの場合、依頼を受けてから具体的な契約書などが皆無な為、今回の様な事態が起こった場合に国や県に助成金等の手続きを行ふ際に書類が揃わなくて審査を通らないどころか、提出すら出来ないので、非常に困る。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	普段通り働いている時には気づかなかった事が色々と浮き彫りになったこの状況で、改めてフリーランスで仕事をしていく事を考える機会になりました。“弱い立場”というのを無くすためにも、業務開始前に特に金銭面の話し合い(1番し難いけど1番大事な事)や、契約書を交わす事が必ず行われる様にしたい。給料の振り込み日を明確にし事前に提示する事を義務付けにしてほしい。(MVなど半年以上先に振り込まれる事もあり)来月はどの案件のものが入るのか振り込まれた後でしか分からない場合も多数。
男性	30代	演出部	フリーランス	契約書が存在しない事が多くある。ギャラも制作会社の予算事情によって、税込を提示されたり、規定のギャラを下げられたりなども普通に横行している。自主制作でない限りは、規定のギャラを確定し、契約書を結ぶのを当たり前として欲しい。
男性	50代	監督	フリーランス	日本の作品創りには、未だにちゃんとした契約を交わさない口約束的なもののが殆ど。これはこういう事態になった時にプロデューサーが逃げられるからそうしているのだと思う。やはりどんな作品でも、最初にちゃんとした契約を結ばないといけない取り決めを業界内一斉にするべきだ。
男性	50代	俳優	フリーランス	契約書を作成する事を義務化してほしい。
女性	50代	編集	フリーランス	仕事の依頼が口約束のことが多く、ギャラの話も後回しになります。お金の話を最初にできる雰囲気になって欲しい。契約をしておらず、先の仕事が流れ時に保証がないのが大きな問題。
男性	30代	演出	フリーランス	基本的に、映画や映像のフリーのスタッフは、作品に入ると企業が結ぶような契約書ではなく、口約束で進んでいくのが文化的にあるかと思います。なので、延期や中止になった時も、口頭で「延期もしくは中止になりました。」と伝えられているかと思います。なのでこれからは、作品が始まるときに、映像業界の約束として、契約書（とまでは行かなくとも）のような公的に提示出来るような取り決めを交わすことを絶対条件を入れるなど、仕組みを変えていく必要があるかもしれませんと思っています。ギャランティーや期間を契約すると言う意味ではなく、これこれの作品に携わっています。と言うのがわかるような証明書です。作品の期間などは、それぞれプロダクションサイドでスケジュールを引くでしょうから、それを公的に提出しさえすれば、それに関わるスタッフは、その期間、その作品に関わっていたこと、もしくは関わったはずだったことが証明出来るようになるのかと。例えば映像業界で働くスタッフもしくはキャストは全てギルドに加盟しなくてはならない。とかして、社員や契約社員、フリーランスなど全ての個人にIDなどを発行、そのIDを作品ごとに登録することで、どの案件に関わっていたのかなども明確に提示できるようになるのかと。映画会社やテレビ局、映像製作会社などが協力して、それなりの体制を整えていただけだと、フリーのスタッフやキャストも安心して仕事が出来るようになると思います。早くこの危機的状況が収束し、優秀なスタッフと共に素晴らしい作品づくりが出来ることを祈っています。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	私たちに出来る事は何も無いかもしれないが、せめて契約書をキチンと交わす事からでも、これから業界の為に成るのではないか?
女性	40代	ディレクター	フリーランス	契約書を交わす事を法律化して欲しい
男性	40代	照明技師	フリーランス	フリーランスの技術スタッフはこのような事態の時守るもののが無く口約束だけのが現状なのを改善して欲しい。
男性	50代	代表取締役 照明技師 ガファー 撮影監督	その他	事前に契約書が、必要。但し難解な書面は、辞めてほしいです。諸外国の様にUnionが、有ると良いと思います。
女性	20代	スチール メイキング	フリーランス	労働組合があつて欲しいとの、やはり契約書は必須にして頂きたい。
男性	40代	演出部	フリーランス	今回感じた事は、制作サイドが緊急事態宣言前の撮影のガイドラインが緩く、無理矢理撮影を続けていく事に何の疑問も持たず、スタッフにも十分な説明もなく進めていく事に恐怖と無知な事を今回感じました。撮影を中断する提言をしての、自身自身も半ば解雇状態でした。意見を言った事で厄介もの扱いだったと思います。制作サイドのすべきこととしては、十分な計画を練ってから撮影を進めて行くべきと感じました。予算が無いと主張するなら、場当たり的な撮影をするのではなく、全スタッフ、キャストを先導していく立場の人間がクレバーな行動をしていく事で安心した現場が出来ていく気がします。スタッフ、キャストが安心して力を發揮して行く事が良質な作品が創造されて行くと思います。まずは、どんなスタッフ、キャストにも必ず契約書（一方的な契約書ではなく）を交わしてから、仕事を遂行していくべきだと思います。ギャラやオーパーワークなどの保証などを目に見える形で示す事で“安心とゆとり”が少しでも生まれてくる気がします。
男性	30代	俳優	フリーランス	自助システムや社会保険、そしてハラスマントや事務所圧力のない当り前のクリーンな制作環境
男性	40代	録音 ポストプロダクション	会社員	スタッフとキャストの距離をどうするか? ワイヤレスマイクの装着等、ポストプロダクションにおいて監督やプロデューサーの立ち会い方の工夫
女性	20代	美術進行	契約社員	前述通り、いきなり撮影がずっと再開して忙しすぎて睡眠不足や過労から事故、ケガが増えることが懸念されるため、撮影の開始時期をずらす等してほしいと思っています。
女性	30代	制作部 担当 主任	フリーランス	命最優先で働いてほしい。
男性	40代		会社員	折れずにがんばりましょう！
男性	30代	代表	フリーランス	まずは自分がコロナに感染しないように最大限努力しましょう。
男性	40代	装飾部 装飾	会社員	自分の身は自分で守る
男性	40代	制作部	フリーランス	予算に見合った作品づくりを心がけるよう強く提言したい。
女性	30代	小道具	フリーランス	制作会社、雇用主は中断・中止・続行いずれの場合でも、その場合の具体的な対処を提示してから進めて欲しいです。また、提示が不服な場合に、相談できる場所があれば良いと思いました。
女性	30代	モデル	フリーランス	こんなに自分自身の成長に使える時間は二度とこないと思います。今のうちに出来なかったことをやるチャンス。今の時間しか感じられないことをしっかりと感じて前を向いていきましょう！
男性	40代	美術装飾関係	会社員	よろしくお願いします。この度の件で、我々のエンターテインメント業界の脆さみたいなものが顕著になりました。それは衣食住からは離れた文化であるために不必要とされれば一瞬で淘汰されるからですね。騒動が落ち着き、改めてスタートを切る時、必要な人材、物、知識をしっかりと確保する必要が最善ですが、難しくなってゆくでしょう。ですが、この機会を逆手にとって、次世代の育成や働き方の見直し。ギャランティの在り方を大きな枠組みの中で模索できると良いですね。フリーランス共同組合みたいなものをしっかりと作って、ワークシェアをする。例えばコロナウィルスにかかってしまったら2週間は撮影に参加できません。しかし代わりに現場に行っていただける方がいると思えるだけで安心感が違います。お友だちの結婚式にどうしても出たい！どうぞ出てください。お子さんが熱が出てどうしても、、大丈夫。1週間代わりに出来ますよ。という具合です。働き方改革が施行されたわけですから今までみたいな仕事の方よりもっと自由な選択をたくさん的人数で表現できれば横つながりも自然と増えます。当然1人あたりのギャラは下がりますが、ゆっくり長く働くことができますから最終的に稼ぐ額は大して変わらないでしょうね。身体もいたわれます。ハリウッドではカメラアシスタントの地位がものすごく高いと聞いたことがあります。日本では未だ助勢的な位置にありますよね。大きな組織になればしっかりとした交渉もできるでしょう。以上です。キレイごとばかりに聞こえ總是思いますが、この度の騒動が落ち着き改めてスタートを切る時、もつと過酷な条件を強いられるでしょう。そうなっても今まで通りでスタートしていくは結局は何も変わらないのか、いろいろな条件交渉を出来るチャンスだとは思います。問い合わせた、自分たちを守る、という意味での私のご意見です。むしろどう変わっていきたいのか、が重要だと感じました。私は会社員ですがこのまま収束しなければ今までの事は間もなくゼロになります。お世話になったこの業界がより良くなれば幸いです。長文失礼致しました。
男性	20代	助監督 装飾部 制作部	フリーランス	耐えよう
男性	40代	衣裳	会社員	今は我慢
男性	50代	フィルムコミッショナ	契約社員	クリエイティブとスキルを無くしてはいけない。そのことを皆に理解してもらう、そして新しい時代を切り開くために協力しよう

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	30代	カメラマン	フリーランス	気をつけてください。体のケア、予防だけは必ず。
男性	50代	照明	フリーランス	撮影では実際に現場がないと言う事は新しい映像がふえません。焼き直し、CG、等も限界があります。新たに撮影現場での進行スタイルから変えていかないとダメだと思います。準備段階はリモートでもできると思います。現場のセッティング段階も、簡素化(他部署が一度に作業しない。入れ替わり制にする。)本番も、極力簡素化(各部所最低限、予定外の効果、演出の突然追加をしない。)懸念材料は、準備段階、セッティング時に時間をかけて払拭すれば良い事です。時間を決めてオーバータイムしない。翌日に繰り越す。慌てない。無茶をさせない。時間は今までよりかかりますが、時間を掛けてもっと良いものをつくるスタンスにシフトすべきです。第一線(第一次産業?)の自分達は、現場でゼロから作ります。無くなつていい部分ではありません。スタンスを変える事だと思います。
男性	40代	俳優	契約社員	役者は台本のセリフやシチュエーションどおりにやらなくてはならない。コロナに怯えてたら芝居どころじゃない…。相手役を信じて覚悟しなければならない。1日も早い終息のために何ができるか、それはうつらない「うつさない」ということを徹底するしかない。やるべきことはとてもシンプル、まずそれしかないとと思う。長引けば長引くほどあるゆる被害者がふえる。芸能という生業は古来よりあった。紀元前から。銀行やコンビニが建つもつもつと前から。それは人類にとって絶対に必要な存在だったからだ。だから絶対に滅びはないし、また新たな作風の芸能芸術がきっと生まれて新しい風が吹くと確信している。いまはぐっと堪えるしかない。なんとかして食いつないでいくしかない。
女性	30代		フリーランス	これまで戦争は経験してなくとも、数々の震災を経験してきてるのだから、何でもかんでも国せいにして騒ぎ立てるのはナンセンスだと思う。まずは、一年間働かなくても大丈夫な地盤をそれぞれ作っておくべき。フリーなんだから、自分の身は自分でまもらなくては。まずは。
男性	40代	演出 監督	フリーランス	戦わなければ勝ち取れないです
男性	30代	演出部	フリーランス	全世界の撮影がストップしている危機的状況です。みんなが協力して乗り切るしかありません。フリーのスタッフを使わなければ成り立たない業界ですので、大手制作会社、プロデューサーはまずは若いスタッフを金銭的にサポートしてあげて下さい。若いスタッフがみんな辞めてしまえば撮影は出来なくななり、映像業界が衰退し業界自体がなくなってしまいます。今ここで手を挙げなかつた制作会社やプロデューサーは白い目で見られ、自身が大変な時に誰も助けてくれなくなる事でしょう。映画業界の未来の為にも若いスタッフに投資して下さい。
女性	30代	演出部	フリーランス	医療やワクチンが整わないままではお客様を楽しむ精神状態になれないと思います。専門職ではないので、私たちは間接的に医療スタッフや研究者への精神的サポートをしていくことが出来ない。日々目の前で亡くなったり苦しんだりする人を、自分の命を危険に晒しながらやっている人たちの努力を発信すること。本当にごめんなさい、ありがとうを映像を使ってより拡散していくことは出来ることなんだろういやらなきゃいけないと思います。あとはハリウッドのようマスクを作つて寄付したり、炊き出したりはスタッフの担当職種によっては技能を生かしてのサポートが出来るんじゃないかなと思います。
男性	50代	代表	フリーランス	現在ワイドショー系列ではテレワーク実践で、スタジオにテレビモニターを乱立して映像遅延、聞き苦しい音声に辟易している状況だが、この演出や技術をいつまでもスタンダードに据えず、既に使える様になった5G回線周辺の活用に本腰を入れる、あるいはレガシー回線でも更なる品質向上は望めるはずなので、業界枠に留まる事なくエンジニアを発掘、育成に務める必要もある。
男性	40代	撮影部 カメラマン	フリーランス	現場での感染症対策がしっかりと取れなければ、上に立つ立場の人間が中止する決断をする判断が遅すぎるし、現場の労働者達もなあなあで危険な仕事を進めていく前時代的な考え方を改めて行かねばならないと考えます。
男性	30代	監督	その他	撮影方法は工夫すれば、絶対に出来ると思う。今までの撮影方法を根本から捨て、新しい作り方の模索する試みをするべき。そこに活路が生まれ新しいクリエイティブも生まれると信じている。
女性	30代	ディレクター	フリーランス	終息が一番ですが、それに伴って収入減少がフリーランスにとって悩みどころです。例えば業界みんなで(基本は個人作業ですが)YouTube参戦し、利益をみんなで配当するというものがまあいいのではと思います。
男性	40代	プロデューサー	会社員	とにかくスタッフ、キャストの安全、健康を第一に考えて判断、行動すべき。
男性	40代	美術	フリーランス	適材適所。少数精銳。職人制。
男性	50代	監督	フリーランス	この機にEラーニングで苦手関連や新規技術のスキルアップ
女性	30代	代表取締役	会社員	撮影が中止になることにより、カメラマン音声、ヘアメイク、出演者など多くのスタッフが収入がなくなる。コロナは長期化すると予想される。全てを中止にするのではなく対策を講じた上で撮影ができるよう進めて行くべき。
女性	40代	制作部	フリーランス	今回はスタッフの意見を聞いてくれる会社と撮影中だったので良かったのですが、長期の待機の為、一度契約を止められた人や、中止のタイミングによっては保証されていないフリーランスも沢山いると思います。そういう人達も気の毒だとは思いますが、プロデューサー、会社員の立場から考えると致し方がないことも解り、厄介な事だと思います。リーマンショック後もそうでしたが今後会社員になる人が増えるのはと思いますが、製作現場においての会社のあり方が嫌でフリーになった人はこの業界を辞める人も増えると思います。今後の予算削減は必須で、製作会社も淘汰されていくと思いますので、スタッフ離れによるスタッフの質の低下(必要な現場スタッフ人数は減らないので経験不足からくる質)、それに伴い出来るスタッフの仕事量の増加、見合はないギャラ等先が明るい話は見えません。私はフリーが長いとずっと制作部をしてきましたので、自分の周りは最低限守ってきたつもりでしたが、最近は守り切れないと思う作品も多く自分だけでやる作品ばかりでしたので(線引きとして自分が声をかけた人の事は守る、例えば今回の様なことがあった場合、信用の出来る会社であればその後のギャラの保証など話し合えるかどうか。知らない、よくわからない会社で最悪ギャラの未払いがあった場合自分が補填できるかどうかを判断できる分だけの声がけ)、今回のコロナの様な命に関わることも関係してくると、正直「やってらんない」と思う事もありました。ですが、制作部としてロケ先(いわゆる現場の最前)との間にいると、世の中の状況も早めにわかり、年の功で会社にも早めに根回し、交渉をはじめられるので、ロケ先やスタッフを守るという意味で間には入れますし今回も入れたので、会社に嫌われたとしても居た意味はあったと思っています。ただこんな事をする人は余りいないと思います。今回の制作会社は私は初めてのところでTV会社である事もあり、言わなければ動いてくれなかつたでしょうし、幹事会社がきちんとしてくれている会社でしたので本当に良かったと思います。そんな会社が、今回の事で無くなつて欲しくないです。ですが、すでに「早めの待機とギャラ保証」をしてくれた、という話が業界内にまわり、別の製作会社からなんて事をするんだ、と苦情まではいかないですが嫌味を言ってきた製作会社もあったと聞き、嫌味をいいう先が違う、と腹たつこともあります。私は映画スタッフとしてやってきたつもりですが、元々はTVの制作会社でこの業界の仕事を覚えました。プロデューサーといふものもやり、自分の立ち位置立ち振る舞いを選んでやってきているので、全て納得しています。もしこの待機機が長引き、撮影中止になり契約が切られたとしてもフリーを選んでしているので仕方がない、と思います。ですが、若い人は途切れの事なく仕事をしないと生活して行けません。そういう環境の中では、コロナに感染し仕事が出来なくなる、治療のお金も自腹、というリスクを負ってでも現場に出ていかなければならぬ、という今の世の中と同じジレンマを抱えやつていかなければいけません。とてもじゃないですが、映像制作の世界にいる意味がないほど夢は持てません。長いことこの世界にもいますが、今後の事を踏まえ組合を作ろうと、とか勉強会とかスタッフ育成とか、よく話はありましたが、持続不可能で何事も改善できません。現場は悪化の一途で、こんな事が起きてしまいました。もう金銭的、精神的余裕が世の中に出るまで耐え忍ぶしかない腹をくくって、それでも残りたい人は別のバイトでもして食いつなぎ戻ってくるしかないと思います。リーマンショックより長期戦でしょう。別バイトですら今は出来ませんが、、、舞台スタッフの方がもっと切実でやつてらっしゃうね。この様なアンケートにどうしたらいいい、とかどうして欲しい、とかが書けずにすみません。でも一度皆「命をかけてでもやりたい仕事」か今回は考えてみた方がいいと思います。本当に自分の命、そしてそれ以上に自分のせいで人が亡くなつてしまうかもしれない、というリスクを負ってでもやる仕事かどうか。そんな事も考えられない、明日のご飯も食べれないから、というほどせつぱ詰まったかたがいるのであれば、支援を受ける体制があるのであれば周知してあげて下さい。話聞いてあげるだけでも教われる人はいるかもしれません。ただ私はこの業界にいる人達の自分でなんとか打破していく力を信じています。でなければサラリーマンしてればいいし、出来た筈です。他力本願ではこの業界ではどの道いざれ生きていません。
男性	40代	代表取締役	会社員	今は大きな変化のタイミングです!私は世の中の困っている人に向けて、自分が何が出来るかを常に考えています。変化と挑戦を繰り返していきましょう!!!!
男性	40代	代表取締役	会社員	実働はなかったが、拘束されていたことで、他の仕事も受けずにいたが、延期になつても拘束分への補償もわからず、他の仕事もみな、簡単に延期に踏み切っている。これには、全て補償というものに対してこの業界全体が軽視しているから、簡単に延期、中止が行われている。これには業界全体の意識を改革する必要があり、その為には荒療治でも期限付きでも法律できつく、縛り、罰則を設けるべきだと思われる。
男性	30代	撮影監督	フリーランス	全てのキャスト、クルーへ。今は家にいよう。心配なのはこの業界に入ったばかりのスタッフがこの厳しい状況で離職する事。年々この業界に入つてくるスタッフが少なくなっている中で、せっかく春から入ってきたのにこの状況ではこの職を諦めてしまうかもしれない。撮影部、照明部、演出部、美術部など多数の部署のキャリアが1~5年のスタッフの為の基金などがあれば、離職しなくていいのではと思う。高齢化社会に向かっていく中で、新しくこの業界に入つくるスタッフがいなくなるにはこの業界の衰退に繋がる。
男性	30代		フリーランス	オンラインデータのやりとりでも、色々制作できるものもあるかと思います。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	50代	俳優 ナレーター 劇団主宰	フリーランス	諦めずに声を上げていきましょう。
男性	30代	監督	フリーランス	やれることをやる。投げ捨てない。仕事を作り出す。營業をしっかりする。仲間たちとコミュニケーションを取る。
男性	50代	カメラマン	会社員	テレビ局や大手代理店などの業界を動かしている大企業が、この先の業界を作っていく指針を示して欲しい。ですが誰も人の心配などしていられないと言えますそれまで。相変わらず個人の頑張りのみで成り立つ業界では、いつまでも持たないと思います。やってはいけない事だけを言うのではなく、こうすれば撮影できる基準を作って欲しいです。我々はまだ世の中に必要な仕事でありたい。
男性	40代	ディレクター プロデューサー	会社員	映像業界は最後は人なんで、そこにプライドを持ってがんばりましょう！
男性	50代	カメラマン	フリーランス	こう言う時こそポジティブな気持ちで、クリエイティブになる事が大事
女性	50代	ヘアメイク	フリーランス	今回の緊急事態で予定していた仕事が急にキャンセルや延期になる場合でも、そのキャンセル料等の保証があるべきだと思います。行政や銀行の支援相談ではフリーランスは今後の安定した収入による返済の見込みが不安定でなかなか受け入れてもらえないのが現状です。上映作品の映像は観ますが、世間的には映像を作る現場での仕事内容は理解しづらいのです。制作スタッフはそれぞれどんな仕事をしているかYouTube等でわかりやすく発信していく事も今後の課題かと思います
女性	30代	アーティストマネージメント	会社員	韓国は感染が深刻な状況でも、ミュージカルや撮影などは滞りなく進んでいます。そのノウハウを学んだ方がいいではないでしょうか。あとは、意識改革が必要だと思います。
女性	40代	撮影 カメラマン	フリーランス	感染者数が落ちingいて安全に制作を開始できる環境になっても、撮影行為が不要不急なものを見なされがちで資金集め、撮影許可など協力が得られにくくなることが予想されます。業界の存続のために国からの多大な補助が必要不可欠だと思うので"SAVE the CINEMA"のように制作現場の声を集めて届けることができればと思います。
男性	40代		フリーランス	声を上げ続けていくことが大事。
男性	50代	就職支援	会社員	今はしんどい時期ですが、耐えてください。また仕事のやり方を考える時間だと考えて、新しいやり方や考え方を模索していかがでしょうか。
男性	40代	編集	その他	明日は我が身。今は我慢して乗り切るしかない。
男性	40代	取締役	会社員	明けない夜はない
女性	30代	衣裳	フリーランス	やれることをやるしかない！頑張って乗り越えましょう！
女性	30代		フリーランス	とにかく生き延びましょう！！！
男性	60代以上	録音技術者	フリーランス	私達は人ととの出会いやみんなで一緒に1つの作品を作る仕事。コロナが治まらないと何も始められません。いつ治るかわかりませんが頑張りましょう！
女性	40代	ヘアメイク	フリーランス	今は仕事を控えて 早く終息させることに専念してほしい
男性	50代	制作部	契約社員	今は何事も我慢。
男性	50代	制作部 制作担当	フリーランス	自分たちの立ち位置を仲間と共に一度しっかり確認していきましょう。311やリーマンショック時も連帯の機運がなかった業界ですが、今は不幸中の幸としてゆっくり考える時間があります。失職、転職、自粛長期化で既存業態の消滅の可能性すらありますが、今は考え行動する事が重要だと思います。
男性	50代	出演者	その他	アートやエンターテインメントは後回しで良いなどという差別的な論評をテレビでコメンテーターがするような文化後進国では、連携をしていくしかないと私は思います。
男性	30代		その他	今は力を合わせて生き抜く時です。それぞれが出来ることをやっていきましょう。
女性	40代	美術部 チーフ 美術進行	フリーランス	人目につくロケの撮影さえ、延期すれば良いという考えは間違っていると感じました。でも、文化や芸術活動は心の豊かさを生むから、この騒ぎが落ち着きだしたら、頑張って活動すれば良い。メリハリが大事だと感じている。撮影の延期を判断する力は、プロデューサーのみならず、各部署のトップに求められると思いました。各部署のトップも自分のチームの安全を守るため、声を上げていく努力をするべきと感じています。
男性	40代	映画解説者	フリーランス	映画は命ほど大切だけど、それでも命は映画より大切だと思います。無理をしないことを前提にしてください。生きていればきっとチャンスはあるので。業界の慣習に流されないように頑張ってください。
女性	50代	事務	会社員	現場だけでなく、事務方も頑張ってます。皆で頑張りましょう！
男性	30代	プロデューサー	フリーランス	とにかく今は耐えること。それを沢山の人に伝えて欲しいです。エンタメ業界の未来は明るいはずです。
男性	30代	プロデューサー	会社員	もう今までの常識はコロナによって変えられてしまったを受け止め、映像表現が変わる新たなスタートだとポジティブになるべく捉えたい。
女性	60代以上	キャスティング	フリーランス	映画業界のために、この仕事を選びいまだに面白がって仕事をしているのですが、人生初のコロナという強敵に打ち勝ってまた面白がって仕事が出来ることを祈ります。
男性	30代	プロデューサー	会社員	自粛期間に今後の前向きな策を練りましょう
女性	40代	ヘアメイク	フリーランス	政府が要請しない限り、我々は密接した危険な環境で仕事をせざるを得ない状況だった。安全を確保されないままの環境での撮影を中断する権限が誰にもない。自分が感染したら他に代理を立てても撮影は続行するだろうが自分のことは助けてはもらえない。感染を責められるだけだろう。俳優が感染しない限り現場は止まらない。5月6日以降、緊急事態が解除されればまた恐怖を抱えながら撮影はスタートすることになりそうだ。
男性	30代	助監督	フリーランス	映画業界は監督ですら食っていくのが大変なのにこの事態はどうしようもない。制作会社はスタッフを守ろうという考えすら持っていない。映画の制作体制を変えていかないと、どちらにしろ崩壊する。
女性	30代	インストラクター	フリーランス	どの世界もフリーは立場が弱い。しかしフリーがいなければ、新しいものや個性は減少する。使い捨てされている状態。企業からは軽く扱われ、コロナの状況で少ないお給料でも受けざるを得ない。
女性	50代		フリーランス	同じ番組を担当していても、そもそも高給なテレビ局社員は継続して仕事があるが、フリーランスは全く無い。契約も口頭約束的なモノが殆どで雇用証明する事が難しく、今後の保障がとても心配。
男性	50代	制作技術 シニアマネージャー	会社員	発注元がコロナ感染に関して、あまり取り組まない
女性	30代	美術部	フリーランス	収入がゼロになり生活ができない。助けて欲しい。
男性	40代	撮影助手 セカンド (フォーカスブラー)	フリーランス	今後撮影が再開した時の、撮影現場での、感染予防対策と感染・発病した時のプロダクション各社の、フリースタッフへの補償がかなり不安です。「対策はしています感」だけで実質がともわないので大半になるだろうな、と思いますが。きちんとしたガイドラインを示してくれるチームの仕事には参加したいですが、体制が充実していない作品には参加したくない。その判断基準を今から自分で決めておかないと、とは思っています。
男性	50代		会社員	アーティスト、俳優、タレントが色々な映像を配信していく話題になっているが、裏で支えているものに対して何ら苦労を感じ得ない。廃業、自殺などの問題を残したまま、この騒動が収束していく事に不安を感じる。気が付いたらスタッフが居なかつたとなるのが目に見えている。
男性	60代以上	照明技師	フリーランス	映像業界の労働条件が元々厳しいので今回の件をきっかけにまた若い人材の損失を危惧して居ります。コロナ禍収束後また人材不足に悩まされるのかと心配です。
男性	30代	プロデューサー	会社員	撮影も編集も3密は避けられない中、今後どうやっていくのか、先が見えてないです。
男性	30代	演出	会社員	人が集まる場所で広告を打つ・披露する目的の映像を、人を集めめて作成する我々の職業は、娯楽とみなされ、ちゃんとした国の支援策が出来るのかと不安にかられています。そんな時こそ映像で伝わる事、できる事をもった活かせれば日々考えています。
女性	30代	AD	会社員	テレビの仕事はどうしても自宅待機だけで作業をするということが出来ないので、出社を拒否する権利がほしいです。一番下のADだけは出社しなければいけないという状況が苦痛だし、恐怖です。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	30代	カメラマン	フリーランス	まず、収入が突然ゼロになった事で家族もいるのでこれからが本当に不安で、さらに自宅待機という自粛のストレスもかなり大きい。また5月の仕事どころか相談すら無いなかどうかって生活をしていたら良いのか。そこで、まず自分達にコロナの抗体があるかどうかを早急にやっていただきたい。無症状のまま感染してて治ってる人間も多数いると聞いています。そういう人は仕事をしても問題無いのではないかですか?不公平になるかもしれません。。また大人数になるCM撮影などもできるだけスタッフ数を減らし、密を減らす努力をしてれば撮影は可能なのではないでしょうか?(事前の体調管理や当日の問診なども確実にやる)また、もし仕事が始まつたら感染のリスクがあるのでしばらくホテルで1人の生活を始めたいとも思っています。うぜんお金はかかるので厳しいですが家族や人に移すよりかは良いのかなと。その辺の補償みたいな事もできたら仕事をするスタッフも増えるのではないかなど。このままではうぜん僕だけではなく周りのスタッフ達もどうにもならない状況です。コロナは間違いなく無くならないことは分かりますがなんとか仕事だけでもできたら。
女性	60代以上	代表	その他	所属するメンバーすべての健康と生活を守りたい、が、正しい情報と共有する以外に方法がみつかりませ。
男性	30代	ディレクター	フリーランス	コロナにより、フリーランスの撮影現場スタッフは仕事がなくなっています。収入がなくなることによって業界の人材がいなくなることを懸念しています。スタッフがないと作品は作れません。映像業界の未来も大変になりますし、私自身もそうなると仕事ができなくなってしまいます
女性	20代	番組編集部 スローオペレーター	会社員	地方のテレビ局で働く技術会社はそもそも基本給が少ない上に、外部から受けている仕事(主にスポーツ番組など)が減り、さらに少ない収入になっていて生活が本当に危ない。
男性	30代	代表取締役	会社員	現状週に1~2件小規模な仕事が入ってくるが感染拡大を防ぐために、全撮影をストップするべき。会社から感染者が出た場合は全仕事を断らざるを得ないし、感染者が出たことによる風評被害も非常に恐れている。
男性	40代	制作	フリーランス	今はガマンでなんとかなるが、収束した後の国、自治体、企業などが金銭的理由によりイベントなどの開催ができなくなることが不安。
男性	40代	装飾部	フリーランス	この業界、フリーランスは使い捨てですよ
女性	20代	装飾部	フリーランス	コロナウイルスの影響で作品が延期、中止になった事はとても残念ですが今は感染が広まらないように外出を自粛しています。5月中に収まるることを願って生活をしていますが、もし緊急事態宣言が長期するとなると在宅でできる副業を探さなければ考えています。ただそのような仕事があるのかという不安も感じています。
女性	20代	照明部	フリーランス	フリーランスなので今回のような事があったときに何も保証がないのは不安
女性	40代	スチール	フリーランス	CM、ドラマに比べ、映画業界は契約や感染対策があいまい過ぎて不満。もともとギャラ単価が低いので休みなく働き続ける事で生活が成り立つ。仕事が無いと精神的にも疲弊しやすい。
男性	40代	企画営業部付 造型管理	契約社員	私自身は優れたトップに恵まれ、自宅作業をさせていただいている。しかし現在も、危機意識の全くないプロデューサーの指揮の元で、不安にかられながらも撮影準備に当たっている仲間がいます。彼らも今目の前の収入のため、そして、この危機が終息した後、仕事をもらえなくなるかも、という恐怖から上に意見できず、従わざるを得なくなっています。トップで指揮する人間たったひとりが事態の本質を理解していないことで、その下の人間たち、ひいては人類全体を危険に曝すという、クテ社会が染み付いた日本の映画界の最悪の害であると思います。
男性	60代以上	カメラマン	フリーランス	撮影という業務の為3密を防ぎソーシャルディスタンスを確保するのが難しい!地方のロケに出るにも移動する事も許されない状態。
男性	40代	取締役 部長	会社員	今現在3月中旬から現在まで9割仕事がなくなり5月はほぼゼロです。安全宣言が出され活動再開になった時!皆んなこの業界で生き残っているのか?会社が潰れてないのか?先行きが心配です。
女性	20代	制作部	フリーランス	働かないと生活できないと言う反面、こんな状況下で働きに出たくないと言う気持ちもある。
男性	40代	技術部	会社員	情報を得るために、医療関係者や陽性患者に近づく身として、何の対策もされない無防備さに理不尽を覚える。
男性	40代	制作部 ライツ推進担当	会社員	これを機会に業界の再編が行われるのではないかと危惧している。そこはとない不安を感じている。
女性	50代	代表取締役	会社員	リモートワークで自宅で撮影などの手法で映画やCMを作っているが、この形態がコロナ収束後もそのまま残ってしまうのではないかと不安に感じる。自前衣装、ヘアメイク、安いギャラが当たり前になるのは、避けたい。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	撮影自粛は致し方ないとは思うが、この状況が長期化した場合の不安が拭えない。また自粛が解除されて後、直ちに常態に戻るとも思えない。
女性	30代	編集	フリーランス	仕事を始めた10年程、ほとんど貯金の出来ない状態が続いていました。現在、1年くらいは無収入でも暮らせるようになると毎月から貯金をしていて、そのお金で何か精神安定を図っています。自分たちを守るために出ることはあまりなく、ほとんど自己責任の世界で、貯金のない人たちもいると思います。業界全体がフリーランスをいいように使って、TV局や大手配給会社の社員の暮らしとは雲泥の差。このコロナ騒ぎで業界が終わるのでは、と感じています。
女性	20代	美術制作	会社員	実施の有無をギリギリで判断することが多い。タレントの安全や企業イメージのことしか判断基準ではなく、作品に携わるスタッフの事は考えられていないよう感じる。
男性	50代	照明	フリーランス	この先どうなるのか、不安でたまりません。
女性	30代	カメラマン	フリーランス	この仕事は人と関わらずには出来ないですが、今の状況が年単位で続くのであれば今後業界自体が元気をなくさないのか心配です
男性	30代	編集	契約社員	テレビ局、製作委員会が製作を止めない限り末端の部署はコロナに怯えながら出社せざるを得ない。仕事があるのはありがたいのだが、家族にうつしてしまったらと考えると怖い。
男性	40代	プロデューサー	その他	エンタメは先が見えない、、
女性	30代	スタイリスト	フリーランス	おさまってないのに、怖すぎるでの仕事撮影はしたくない!
男性	50代	テクニカルコーディネーター クリエイター	会社員	戦中のような同調圧力が恐い。
男性	40代	シネマトグラファー	フリーランス	1~10までブラックな映画、映像業界。スタッフの半分以上はフリーランススタッフで人としての人権も無いような仕事も少なくありません。まずはフリーランスの定義を考え直して法整備していただきたいと切に思う。そのために何かしら必要であればいくらでも協力しようと思っています。
男性	60代以上	監督(演出) 企画 脚本 プロデューサー	フリーランス	文化、芸術は人が人として生きていくために必要、不可欠なものである。人はパンのみにて生きるに非らず!と言う、当たり前のことを日本国政府、行政に理解して頂きたい。
男性	30代	カメラマン	フリーランス	フリーランスという働き方の理解を世間にして貰いたい。国民年金等の制度をちゃんとしてほしい(貰えるとしても生活出来る額ではない)
男性	50代	サイザーブログラマー、シンセサイ	フリーランス	とにかく文化活動に対する理解や支援が低すぎて、末端まで降りてくる残り物のような予算を取り合った結果の雀の涙で生活している。最終段階の作業が重要なプロジェクトにおいても同じ。これでは良いものや良い人材が埋もれていってしまう。もっと根底からの理解や支援が必要。
男性	40代	音響	フリーランス	業務が無ければ無収入になる事を、行政の方達に理解していただきたい
男性	50代	フリーランス	フリーランス	政府は大きな括りでしかフリーランスを捉えていないと思う。同じフリーランスでもレギュラーの仕事がある人と、単発発注がほとんどを占めている人との働き方に多様性があるので、もっと深く理解をして欲しい。
男性	60代以上	俳優	フリーランス	もう10年以上前ではあるが現在ある助成金制度を表現者個人にも適用したらどうか、と言う案を持っていました。勿論表面化せずに消えになりました。文化、芸術に対する理解、応援、支援は想像力のない現政権には望むべくもないことがハッキリしました。文化庁長官を我々表現者の中から出し文化庁を文化省にし、文化財保護に匹敵する予算を文化芸術に回さなければなりません。今後出てくるであろう若い才能ある若者達のためにも。
男性	50代	編集	フリーランス	文化事業に対する国の理解を
男性	60代以上	撮影監督	フリーランス	映画等、芸術関係への理解が一般的に低いので、公的な援助対策を国としてもっと真剣に取り組んで欲しい。
女性	50代	芸能プロダクション 代表	会社員	好きでやってることと簡単に片付けないでほしい。みんな生活がかかっている。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	美術部 主に美術助手 たまにデザイナー	フリーランス	こういった業界で特にフリーランスとして働いていると、日本ではやはり「趣味でやっている」という目で見られることが多いと思います。海外では映画は芸術・文化の一つのジャンルとして捉えられていて、こういった状況でもサポートがしっかりとしていると羨ましくなります。このコロナ騒動によって、日本の感性の貧しさや文化面での未成熟さが表れています。
男性	40代	撮影部	フリーランス	YouTube配信でライブ映像を生中継したくとも、それを行ったライブハウス等への協力金支給は行わないという報道がなされました。僕らはどうやって生きていけば良いですか?
男性	50代		フリーランス	ちゃんとした文化としての職場の地位向上と国や自治体等からの援助と理解!
女性	50代	ディレクター、デザイナー、スタイル	フリーランス	1、海外の仕事では、契約書ありきでスタートするのが当たり前ですが、日本にはそれが無い…補償なく、なあなあで条件や報酬が決められている事が多過ぎて納得できない事もしばしば有り、改善される事を望みます。実際に、アメリカや中国など仕事をしましたが本当に事細かく契約をかわすので…仕事の線引も明確なため、報酬や条件のトラブルも起きました。契約書の導入をツーにしましょう!2、今回のドイツの政策のように、芸術や文化に関連する職業に対して敬意ある補償が欲しいです。日本政府にはそれが欠如している。Facebookに掲載されていたミュージシャンや役者がライブハウスや劇場の休業を受け、フリーランス向けの補償を聞きに行ったところ…職安を紹介されたそうです。フリーランスは、フリーターやアルバイトじゃない。いずれも、私達の仕事に対して無知すぎる政府や役人の感覚、これって改善されないのかしら…常に不信感を持っています。女性だけではなく、この業界で働く事やその必要性を不要不急と一括りにされないような意識を国に持って貰いたい。
女性	20代	声優	フリーランス	年金の猶予申請をしに行つた際に「ホームページにはフリーランスで仕事が減った方に対する免除と書いてあるが、現場に特別な指示は来ていない。(ホームページに掲載されていて約1ヶ月過ぎていた時に言われた) フリーランス向けと書いているだけで、内容は普段の猶予と変わらない。今すぐ猶予して欲しい場合は、公的に廃業していただくしかない。」と言われた事が、本当に辛かった。その後の住民税などの申請も、行く気力がなくなってしまった。そもそも現場は、フリーランスとフリーターを混同している。
男性	40代		フリーランス	この先の経済に大きく左右される業種なので、終息イコール仕事増ではない。ここへの無理解がとても辛い。
男性	60代以上	演出撮影	フリーランス	フリーランスに対する政府の考え方方がドツと全く違う。政治家を変えるしかない。
男性	50代	ミュージシャン ベースト	フリーランス	今に始まった事でもないが、日本という国は音楽、文化を大事にしない国でなんと情けないことか!と思う。
男性	50代	演出 カメラ 編集	フリーランス	いちばん最初に、自粛を求められた業界なのに、国はそのことに触れもしない。ほとんどの人が5月まで、すでに4ヶ月以上仕事ができない状態を、日本のエンターテイメントを支えてきた、特にフリーランス(フリーターではない!)の人たちの現状を、国に理解し対策して欲しい。
男性	30代	制作部 照明部 演出部	フリーランス	まずは声をあげて、世間、世論にフィーチャーしてもらはなければ何も始まらないのではないかと思う。この業種は世間からの認知度が低すぎるのではないかと日々思っている。
女性	50代	TV映画記録 スクリプター	フリーランス	フリーランスはフリーターとは違う…と言う事を理解して頂きたい。
女性	30代		会社員	再開するにあたりマニュアルが欲しい
男性	40代	トイレカー事業 代表	フリーランス	ウイルスの拡散を抑制するためには仕方がないが抑制に無頓着な人がまだまだ多い。邪魔されたくない
男性	30代	監督 助監督	フリーランス	三密にならずに良いものは出来ない。ワクチンが出来て十分に行き届くまで全ての撮影は再開すべきでない。
男性	50代	ディレクター	その他	在宅ワークが不可能な現場で働く者として、可能な限り情報収集していきたいし、事態が沈静化した後に、今回の事を忘れる事なく心に留めて仕事していかない。自分たちを守る術は二にも二にも蜜を避ける!マスクをする!手洗いうがい!これしかないと。
男性	30代	録音部	会社員	スタッフには、飛沫感染等を防ぐため、徹底した除菌、防疫をする、機材等も含む。俳優側には、その辺りを理解してもらう。あと、イン前にPCR検査はしたい。雇用する側が検査データがないと雇えません、とかがあると個人負担になってしまうのならば、何か手当てを製作側が負担できる環境を整えるのが必要だと思う。
男性	30代	録音	フリーランス	スタジオへのギャランティに消毒料を盛り込むことを正当化するが必要だと思います。
男性	30代	フリーランス	フリーランス	とにかく感染しないこと
女性	40代		フリーランス	エチケットを守る(清潔にする、マスク着用など)
男性	50代	ビデオエンジニア	会社員	現場でのコロナ対策の徹底しかないのか
男性	40代	撮影部 撮影 撮影助手	フリーランス	コロナ長期化した際に、医療現場を崩壊させないため、3密を避ける工夫を今の仕事に盛り込み、営める形を見つけたい
女性	40代	美術	会社員	今はコロナの終息が第一優先だと思います。、
女性	30代	ディレクター	フリーランス	どちらかというと自粛賛成派ではないのでロケや現場があれば行っています。しかしフロアをやってみて地べたに座って作業をする、そしてその手でお弁当を配るなどコロナ対策が行き届いているとは言い難いです。別室で収録していると言いつつ、同じ部屋で収録していることもあります。なるべく消毒、手洗い、うがいをこまめにしておりますが限界があるように感じます。
男性	40代	監督 演出部 制作部	フリーランス	自分たちや業界を守る前に医療従事者を守るべき、そして経済優先でコロナ収束が軽んじられ、自粛のお願いに終始している政府に対して、より強い政策を求めるべきだ。コロナが収束するか特効薬、ワクチンが開発されるまでほとんどの映像業界が仕事にならない。このままでは年内収束は希望的観測だ。多くが職にあぶれる。我々の経済の前に政府への働きかけが必要だ。それが業界人が生き残る数少ない方法だと考える。
女性	20代	マネジメント	契約社員	いろんな仕事が飛んで焦る気持ちは全員にあるのでよく分かりますが目の回収にとらわれず、コロナが収束してからどうするかを考えて動きませんか。いまコソコソ現場をしても感染のリスクは大きくなるだけです。いくら感染対策を徹底しても現場は人が密集しますし、食事だって一緒にあります。そんな中、収束の見通しもついていないのに5月6月に現場を組んで強行突破しようとしている組もあります。業界内の危機感が非常に薄い気がしています。またオンラインで配信等を行うにも準備するスタッフは電車に乗って仕事に行くことを忘れないで欲しいです。とりあえずいましばらくはじっとしておくのがベストではないでしょうか。
男性	60代以上	代表	その他	政府が主導でもっと危機意識も必要だし、封じ込め策、例えば都市のロックダウン等でみんなで痛みを分け合わないと早く解決しない。小手先の支援では立て直せない。
男性	50代	MAグループ	契約社員	作業対策を考える
男性	40代	照明	フリーランス	細かいことは色々なされてると思うので今一度意識改革を。被害者にならないためではなく加害者にならないために対策を怠らないことを徹底してほしい
男性	60代以上	制作会社経営者	その他	COVIDに感染しないように、生活を注意する。止む無く人と会うときは距離をおく。
男性	60代以上		フリーランス	何しろコロナの収束。
女性	50代	俳優	フリーランス	「search サーチ」という映画がありました。オンラインで流されるニュースや監視カメラ映像のみでパソコンで見ているようなつなぎ方だけにつづられている作品です。個々の役者も、スタッフのみなさんも、直接会うことなく、こういった綴り方ができる作品で何かしら作れるのなら、感染リスクを抑えてできるかもしれない、安易ですが考えてしまいました。可能な場合、参加できるなら参加してみたいです。
男性	20代	録音部	フリーランス	今は仕事が来ても極力仕事をしない方がいいと思う。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	ワクチンができるまで順調でも3年と言われている。自粛だから完全に撮影無しかではなく、感染予防対策に気を配り少しづつでも再開しなければいけないと思います。特に気を付けるべきは睡眠時間。撮影終了から翌日のスタートまで8時間かかる今までの当たり前だけは改善しないと、手洗いうがい栄養管理等は個人個人でできても睡眠時間だけは製作側が終了時刻と開始時刻に気を配ってくれないとどうにもならない。スタンバイチームとしては睡眠時間だけちゃんととれれば撮影はいつ再開しても準備万端大丈夫です。
女性	40代	ナレーター	その他	密室のスタジオの消毒と換気の徹底をしてほしい。
男性	30代	カメラマン	会社員	音楽イベントで主に撮影している者です。感染防止の観点から言えば現状はイベント開催は難しいでしょう。この業界の関係者としては長引けば長引くほど破綻していきます。早急にロックダウンして政府、自治体には今よりも徹底した感染防止対策を実施して貰いたいと思っています。
女性	30代	造形	フリーランス	配信、無観客の公演を増やす。客席のソーシャルディスタンスを確保し公演できるようにする。
男性	40代	ロケコーディネート 車両部	フリーランス	ダラダラと経済を動かすと、その分蔓延が広がり延びる…ロックダウン出来ないなら、外出に対する罰則や条例を厳しくするべきだ…この業界は長引けばロケ先が受け入れて貰えない
女性	50代	衣装製作	フリーランス	すぐの制圧は難しく長く付き合っていかなければならないウイルスです。ウイルスとの向き合い方を熟知したうえで、少数精銳でやれればいいのかなと思います。
男性	50代	CEO	フリーランス	食事中は一切など会話は一切しない。スタッフもキャストもギリギリまでマスク着用、手洗い場の確保など、少々、いつもとは違う現場になってます。
男性	50代	代表取締役	その他	テレビの生放送（ニュース、バラエティー、情報など）は、演者すべてをマスク着用にすべき。スタッフはおそらく皆つけているのに、彼らだけが危険にさらされているのは理解不能。
男性	50代	個人経営	フリーランス	外出を控えて欲しい
男性	40代	プロデューサー ロケーションコーディネーター	会社員	今は感染拡大しないよう行動を大幅に削減すること。
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	手洗い、マスク、うがいを徹底して、栄養、睡眠をしっかりとることが大切だと思う。
女性	10代	タレント	フリーランス	ライブ、舞台、映画は、観覧もそうですが、作品を作るための現場も三密でなければ成立しません。例えば抗体検査やワクチンの接種を、このような職業を優先して行ってもらえるように働きかけはできませんか？おそらく飲食業も同じだと思います。
男性	30代	監督	フリーランス	とにかく感染しない、感染を防ぐために努める。
女性	50代	ヘアメイク	フリーランス	感染の防止を管理する人材
男性	50代	MA	会社員	できるだけ、立ち会いの時間を短時間にする。
男性	20代	撮影部	フリーランス	この事態なのにも関わらず狭いスタジオ内で数十人が固まって撮影される場合があります。私も今月23.24日にそのような場で撮影します。制作会社、代理店、クリアントは何をもってGOをしているのか見当もつきません。私たちはフリーランスなので発病した場合の企業側からの保証も約束されていません。私が求めるものは政府による各企業への自粛をさらに徹底した政策を掲げて欲しいと思います。それを徹底すれば制作会社、代理店、クリアントはもちろんスタジオやロケ地の運営サイドにもストッパーが掛かり感染拡大を防げるのではないかと思います。
男性	40代	代表	会社員	今は我慢の時、無理して外出をして感染したら全てが無くなります。
女性	30代	制作進行。PM	フリーランス	感染リスクを下げるために、撮影時の密度や換気の管理をプロデューサーや監督など立場が上の人が理解し、責任者として現場で徹底してコントロールしてほしい。出演者も下も言われた通りにするしかないことが多いので。
男性	40代	照明	フリーランス	"3密"を極力避ける
男性	30代	撮影部 チーフ セカンド	フリーランス	クリアントと代理店にインターネットストリーミングでビデオフィードを表示する機能があります。これにより、場所にいる必要のない人を減らし、コロナのリスクを減らします。
男性	40代	照明	契約社員	国民全員が、一度抗体検査を、すべての人が受けるべきだと思う。
男性	20代	平社員	会社員	最小人数で頑張って欲しい
男性	40代	撮影	フリーランス	2週間位、一部の職業を除き会社の利益のみの職業の仕事をストップし、外出も週一回程の近所の買い物のみで皆で我慢すれば早く解決すると思う。
男性	40代	ロケーションコーディネーター 代表者取締役	その他	外出自粛などという甘いものではなく、ロックダウンなど100%効果がある対応を短期間で行い、この終わりの見えないコロナとの戦いを終わらせて欲しい
男性	50代	ディレクター	フリーランス	とにかく感染予防
男性	40代	役員	会社員	MAミキサーをしています。テレビ番組が中心なので仕事はあまり減ってはいませんが、スタジオという環境が密になりやすく、ナレーションを録ったりミックスチェックなど、密な状態での作業が多いです。新規に撮影が出来ないので過去VTRの総集編などが多いですが、それを作るために普段よりナレーションが多くたり、スタッフとのやりとりも増えたりで、逆に以前より人に接するようになっています。制作の上の方は会議など人に接しないように出来ているようですが、現場は逆です。いつでも現場が一番悪く、逆に一番重要なので、制作サイドや局には、現場作業が増えないように番組作りをお願いしたい。
男性	30代	デザイナー	会社員	このような状況において最低限の人員で制作できるコンテンツを考えるべき。全てリモートで収録、編集できるシステムとか。小さなプロジェクトでもいいから制作しつづけないと。
女性	20代	演出部 助監督	フリーランス	なるべくマスク、除菌や手洗い、うがいなど気をつけていただきたい。ひとりが感染すると作品が飛びかねないです、収入もどうなるかわからない。
男性	40代	照明部	フリーランス	基本的に宣言前の現場全てで皆んなの危機意識が低かったと思う。対策をしていても今から思うと全て中途半端で対策としては全く十分ではなかったと思う。（自分も含め全スタッフ、演者も）
男性	30代	制作部	フリーランス	また通りの環境下での仕事を出来ることを、またその意識を持つことを望む。中途半端にあればダメこれはダメ、遠隔で、リモートで、リスク回避して等々の意識が少しでも優先された先には、もう経済含めて元の世界に戻ることはないなと思う。敵はウイルスから空気へと変化する。その中で、闘るのは我々であって、その空気を作るのも我々であって、アイデアというか、もう元に戻るようにすることが一番大切じゃないかと。だってそうしないとスポーツもライブも映画も演劇も、もう全部ですよ、全部NGダメやん。もちろん撮影もダメ。元に戻そう。それを合言葉に出来ないなら終了です。人類が終息。以上。
女性	40代	衣裳	フリーランス	仕事に入る前に体調チェック。自分ではなく。
女性	30代	俳優	フリーランス	役者は芝居するとなるとマスクも出来ない状態で人と接近して芝居せねばなりません。しっかりと現場にいる人みんなが、PCR検査をした上で現場に入るのが希望です。
女性	20代	制作部	フリーランス	(以下、調査員の方々が賛同してくださる場合だけ結果を掲載してください。もし的外れだったら恥ずかしいので..) 今回、コロナが蔓延していくにつれ自分の作品は延期。他の作品はまだ撮影してる、など作品（制作会社）によって全然方向性が違った。今後コロナと同じようなパンデミックや震災があった際、映像業界全体はどうするか1つの指標を決める組合を結成したら良いと思う。組合はフリーランスも会社も加入できるようにする。できるなら車両会社や弁当・ケータリング屋さんも。有事の際に金銭的に撮影を続行せざるを得ない会社や、仕事が無くなった個人に対して補償を渡せるように保障を設立し、勤務しなくても生活できるようにする。国からも積極的に支援を受けられる体制を作る。ただし、組合の決定には従うこと。既にこういう組合はあるのかもしれないけど映像に携わる人全てひっくりめた組合が必要なのではないかと思う。もしかしたら、この組合内で人手が廻せて人手不足が緩和するかもしれない。組合で保育園や託児所を作れたら女性が働きやすくなるかもしれない。これを機に映像業界を少しでも進歩させたいと思う。
女性	50代	ヘアメイク	フリーランス	やはりユニオンが必要だと思います。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	今後、フリーランスでもユニオンなどの労働組合的な助け合う機関が必要だと思います。
男性	60代以上	撮影	フリーランス	強力なユニオンの結成

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	働き方の多様化をしていくべき言いながら、そこに対してフォローが無い。具体案をそれぞれが考えるべき。・自分たちの首を絞めない為にも、仕事を安く受けてはいけない・ユニオンの設立・国からの映画等への予算確保・フリーランスが子供を育てながら仕事を続けていくる施設等
男性	40代	照明技師	フリーランス	労働組合や弁護士等に相談ができるような制度、支援の整備をなんとかしたい。各パートスタッフも演者も垣根なく業界全体で一丸となって整備が必要だと思う。
男性	40代	車両部	フリーランス	どの部署もアメリカのように組合に守られた組織作りをした方が良いと思います
男性	40代	スタント	フリーランス	組合というものは絶対に必要だと思う。あつたなら今回のような事態にも保証などの受け方など対応もできただろう以前からのギャラや扱いに対する不安や不満などにも対応できただろう。今までの参加した作品数を考えれば二時使用料などによって経済的な不安からも少しくらいは解放されていたと思う。海外のように若い人や夢のある人が働きたくなる芸能界ではないのが悲しい。
男性	40代	スタントマン	フリーランス	根本的な改革が必要。映画、TV等の仕事は、時間と予算が無いのが通常。その上、契約書が無く、有ってもスタッフにとって不利な項目ばかりだが、フリーランスは仕事を受けざるを得ないのが現状。基本的に、ギャランティが安く、ケガ等をした場合の補償が無い、使い捨ての状態。組合や協会を作り、業界全体に周知徹底されなければ変わらない。今回の緊急事態のような事が起った場合、収入が無くなり、何の補償も無く生活困窮に陥る。
男性	40代	代表取締役	その他	芸能事務所を経営しているが、俳優の組合がないし補償もないでハリウッドのように俳優組合を作り、口約束だけの業界の抜本的な改革を進みたい！
男性	30代	録音部	フリーランス	労働組合の設立、補償などを明記した契約書の内容の質の向上。相談窓口の設立
男性	30代	撮影	フリーランス	記述が曖昧。現場では濃厚接触は避けられない。作品ごとに対応が違う。映画であれば監督協会や撮影監督協会などの団体は映画の雇用に関する問題に対してなにもしていないので何かする、あるいは解体して新たな組織をつくる。CMであればJACや大手代理店制作会社が話し合って記述をつくる。とにかくフリースタッフを守る協会を作つて力を与えるべき。でないと雇用の待遇はもちろん技術も守れない。
男性	40代		会社員	ギャラや拘束、労働時間への法的対応等の対応を含めたスタッフユニオンや基金(海外のような休業補償のプール金等も含)の設立
男性	40代	演出 ディレクター	フリーランス	映像制作などのフリーランスらのユニオン化。ライセンス化。
男性	50代	プロデューサー	契約社員	映像業界全体で保証を含めた契約形態の見直しと確立と、業界全体での労働組合的な組織の組成。
男性	40代		フリーランス	労働組合の強化 有事に正しく補償されるように選挙において慎重に自分達の代理である候補者を選ぶ事
男性	50代	カメラマン	会社員	日本初のユニオンを作る事です。未だに大手と言われる制作会社には契約書がなく聞いてもありませんの一言です。今時契約書もない仕事が何處にあるんでしょうか? 私達一部のメンバーでは、法人化を行いユニオン作りに向けて動いてます。ここら辺で一致団結して日本なりの団体設立を希望します。今やらなければもう語ったところで前には進みません。色んな団体あるらしいですが、ユニオンでの活動ではないと思われます。この様なNPO法人があるのですからやる人間から集めて行けたらと思います。一人一人に話しても動きません。まず理解ある方から! 是非お願い致します。
男性	30代	照明部	フリーランス	映像業界自体の脆弱性を感じます。労働組合等の政治への影響が強くなるようなシステム作りが大切だと改めて感じた。
男性	40代	カメラマン	フリーランス	いつまでも日本特有のシステムや考え方で捉われず組合 ユニオンの発足を望みます。
男性	50代	演出部	フリーランス	各映画スタッフ協会が協力してユニオンを立ち上げて欲しい。
男性	40代	撮影部	フリーランス	一般へのスポーツマンとしての業界団体が必要だとおもいます。大きはあるのかもしれません、細かい個人の状態まで組み込まれた、現状に即したものはないおもいます。アメリカの職能ごとのユニオン/ギルドなどのようなものがあると、とおもいます。
男性	20代	カメラマン ステディカムオペレーター	フリーランス	コロナウィルスによって業界全体が、ストップした今こそ、日本の撮影映像業界は長時間労働、ハラスマント、暴力などから脱却した、よりよい体质に変われる節目の時だと思います。そのためアメリカのように、労働組合、ユニオンをつくり、私たちからお金をとつても良いので、日本の映像業界全体を変ええて行って欲しいです。撮影時間や、ギャラの支払い、低予算の撮影、怪我事故の保証など、ユニオンとノンユニオンとをわけ、業界が動いていくべきです。
男性	30代	撮影	フリーランス	ユニオンの設立が必須だと思いました、それによって作品毎の契約書などの古い口約束の様なやり方から脱しないといけないと私は思います。
男性	30代	監督	その他	こんなに非人道的な労働環境の業界でコロナ感染が広がるのも当たり前だと思います。ユニオン作つて欲しいです。どうせ電通と博報堂に潰されるとは思いますが。。。
男性	30代	撮影	フリーランス	在宅時ににおいて映像や音楽、芸術といった全ての文化は精神面のケアにも欠かせないものになっている。この状況が長期化された場合、新しいものを生み出せなくなる事によって自分たちの文化、産業全てが廃れてしまう事に強い危機感を感じる。また経済面でも大きな不安があるが、他のフリーランスがユニオンを立ち上げて積み立てている基金のようなものが今後あれば、多少はマシなのかなと思う。
男性	40代	ヘアメイク	フリーランス	映像系の仕事に関して言えば海外のようにユニオンがあつて欲しい。フリーランスの保険などもあるといいなと思います。
男性	30代	撮影	フリーランス	海外の様に本当にちゃんとした労働組合を作るべきです。勿論、全部署で。撮影部としては名ばかりで何もしない日本撮影監督協会(JSC)なんて意味がない。
男性	30代	撮影助手	フリーランス	撮影助手の立場から見て、組合のシステムの改善は必須だと思います。現状ではフリーランスの労働者を守るために経済上、健康上必要なルール整備が皆無であり、最低限の人の間の生活を送りながら仕事を続けることは日本映画業界で働くに当たってはほぼ不可能を感じています。特に、最低限のギャランティを保証する仕組み作り(ガイドライン設定と、最低限を下回る額が提示された場合に相談出来る窓口の設置)、及び一週間あたりの労働時間の制限を設けること(事故を防ぐ為に、睡眠時間と準備に充てる以外のきっちんとした休日を確保する)は急務だと思います。
男性	20代	撮影部	フリーランス	ユニオンの設立と労働規約の作成、各会社のギャランティ統一化
女性	40代	美術	フリーランス	三密などの環境を回避して仕事をする事が難しい。そもそも労働時間など契約書もないので労働基準法を無視した労働条件の下仕事をしている。7時間以上、24時間近く休憩もままならず仕事をする事が多い。休憩時間やセクハラハラなども含め人権を守った撮影環境になる様労働組合、ユニオンなどを作つて撮影スタッフを守つてもらいたい。また問題が起つた時にフリーランスの場合どこに、誰に相談をしていいのかわからぬ。
男性	40代	撮影部	フリーランス	何も保証がないので不安です。組合が必要だと思います。
男性	40代	役者	契約社員	文化を護るためにには国家的な保障、保護が必須だが、エンターテイメント及び芸術に対する日本政府の無理解は今更言うまでもない。ならば、自ら護るしかない。個人で出来ることはあまりにも少ないので、これを機会に芸能に携わる企業、事務所、個人がこれまでのやり方を刷新する必要がある。既得権益を捨てることは簡単ではないが、このままでは未来がない。(そもそも、世界を見ることなく、自國のみの目先の利益だけを追いかけて、映画やドラマの質を下げ続けてしまったことが日本のエンターテイメントの将来を危うくした根本的原因のだが、今回のコロナが、それにとどめを刺す形となつた。)具体的には、アメリカのようにユニオン(俳優組合)の導入が望ましい。これによって、俳優たちのあらゆる権利を守り、保障する。さらには、キャスティングの公平性(適材適所、実力主義)という当然のことの実現し、作品の質を上げる。現状の日本の芸能事務所主体の歪なシステムよりもペーターであることは明白。勿論、ユニオンのシステムに全く問題が無いわけではないので、改善の余地があることは言うまでもない。既存の構造を解体し、再構築することは痛みも伴うし簡単ではない。しかし、不可能ではないはずだ。未曾有の危機に瀕した今こそ、そのチャンスなのではないか。日本のエンターテイメント業界を真に救うため、その未来を護るために。
男性	40代	照明部	フリーランス	組合組織的なものがあれば、、
男性	20代	映像監督 撮影 映像編集	フリーランス	欧米諸国では芸術に関わる人のためにギルドや様々な支援が存在する。日本も見習つて欲しい。
男性	30代	劇用車	会社員	日本映画も組合を作るべき時がきたと思う。それにより制作会社が潰れても良いと思いますよ。やる気の搾取は見飽きました。
男性	40代	照明	フリーランス	ユニオンが有ると良い。
男性	40代	撮影部 カメラマン	フリーランス	海外と同様のUnion化

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	20代	映像監督 撮影 映像編集	フリーランス	欧米諸国では芸術に関わる人のためにギルドや様々な支援が存在する。日本も見習って欲しい。
男性	30代	撮影部	フリーランス	労働組合の設立、明確な契約書の習慣化。
男性	20代	俳優	フリーランス	労働組合の設立
男性	30代	カメラマン	フリーランス	組合を作るのが良いと思います。
男性	60代以上	美術デザイナー	フリーランス	労働組合を作り、業務契約をしっかりとシステムの構築。
男性	60代以上	カメラマン	フリーランス	フリーランスでは限界がある。アメリカ等諸外国を手本としたユニオンが必要!
女性	40代	特機部	フリーランス	アメリカのユニオンのようなものが欲しいです。
男性	20代	映像監督 撮影 映像編集	フリーランス	欧米諸国では芸術に関わる人のためにギルドや様々な支援が存在する。日本も見習って欲しい。
男性	40代	俳優	その他	労働組合や保険制度を作らなければならない
女性	40代	演出部	フリーランス	我が業界は国難にあっては、不要不急の部類には入ると思うので報道以外はワクチンができるまで休止が妥当と考える。そこは政府判断で休業要請して貰わないと足並みは揃わない。もちろん、補償とセットでなければ動きは止められないので国が救済措置を取るべきだが現実味はない。フリーランスは真っ先に切り捨てられる。雇い主都合で流れても拘束予定期間保証されないことは何もコロナに限ったことではなく日常茶飯事。やはり欧米のように組合と契約書を交わす必要性がある。
女性	40代	撮影部	会社員	撮影業界に対する、しっかりとした労働組合を日本は作るべきだと思います。
男性	40代	照明部 技師	フリーランス	フリーランスの組合を作つて欲しい
男性	40代	美術	フリーランス	最後に携わった仕事が海外の仕事で、労働組合の存在に愕きました。海外の方は労働組合に守られてとても済ましかったです。日本は本当に遅れた国だと実感しました。だから、しっかりと機能する労働組合が必要と感じました。
女性	20代	プロデューサー	その他	俳優部が心配です。組合があつた方がいいかもしれません。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	テレビ関係は下請けの労働組合がないので、テレビ局からのトップダウンに誰も逆らえない状況。例えば「不況だから」という一言だけで交渉もなく外注費を下げられる。これがバブルから今まで続いているギャラは減る一方。局や広告代理店の強要から鬱える、下請けやフリーランスを守る団体が必要。
男性	40代	俳優	その他	この機会に是非とも大規模な組合の設立を。
男性	50代	車輌部	フリーランス	ユニオンの必要性。車輌部は他のスタッフと違い、ギャラに対しての補償や担保が成立しない、若しくは軽んじて見られる傾向が強い。運転免許という資格者であつても、その点について理解が無い。言い方は悪いかも知れないが、他の部署は『自称』で仕事をしている人が殆どな訳では、隔たりが強いと感じる。現場へ、人や資材を運ばなければ、撮影も出来ないと言う根本の理解がない事がそもそもだと思う。その点で他の部署と同じ様に、当初予定から中止や停止をした場合に矢面に立って交渉をしてくれるシステムは必要だと思うし、全般的にフリーランスに対しての厚勞省や労基の面でのシステムも必要だと思います。
男性	30代	特機部	フリーランス	撮影業界内では、ほとんどの方が皆平等に仕事がなくなっていると思う。今こそ再開に向け、新しい機関、ユニオンなどの結束力を持つ組織を作つて、自分たちの身を自分たちで守れるような仕組みを作れたらいいと思う。
女性	30代	演出助手	フリーランス	日本にも俳優・芸能組合が必要と切に感じています。現状、小さな峰が乱しているのが実情かと思います。民間で、一本化することが可能なのか、はたまた、新国立劇場のような旗持ちになれる団体を母体とすることが適当なのかなとは思案のところですが、何らかの団体が必要かと思います。
男性	40代	舞台監督	契約社員	ユニオンのような自分たちの権利を自分たちで守り要求できるための団体の設立、いまある各業界団体をまとめる集合体
男性	30代	撮影	フリーランス	コロナに関して。まず、コロナが蔓延している状況で仕事をした場合、制作は何もウィルスに対しての対策が無い。クライアントの要望で仕事をするだけです。スタッフへ「コロナになんでも自分達にできる保険などありません」と宣言して仕事を下請け、技術部に発注するだけです。マスクも自分で持ってきて下さいとの事。そもそもギャランティが30年前から一切変わっていないという状況で、撮影後に制作会社から相談があります。と言われてギャランティを削る作業が確実に入ります。休み時間無し、お昼、夜ご飯無しも当たり前です。東北新社、TYO、太陽企画という制作会社に至っては会社が大きいのを傘にして自分達の会社の規定があると言つてフリーランスのギャランティを勝手に値下げして仕事を発注しています。問題は仕事前にギャランティの内容が交渉されない事であり、もしお金に対して仕事を断った場合入り禁止にされてしまう風潮であります。解決方法として、しっかりと労働基準を作る事であり、海外のようにユニオン、労働組合を作る事がになります。撮影協会なるものも業界に存在しますが、何も動いてくれません。自分達の仕事が減るのを恐れているのです。結局ストライキを含めた対応をしなければ業界の改善が出来ない状況まで落ち込んでしまっています。若い人材は入って来ない上に長続きしない理由は労働時間と対価、ギャランティが見合っていない業界にあり、お金がないことで良い作品など映画で作れる訳ではなく、風前の灯となっています。また、政府は海外に対して日本は残業時間を必要としないスタッフと宣伝している事は世界中のプロデューサー、制作会社に笑われているので辞めて頂きたいです。その上で大手制作会社、東宝、電通、博報堂、東北新社、TYOなどに対して“オープン”に話して頂き(当然技術部などの業界人も含む)改善して頂く他の業界の生きる道は無いと思います。
男性	30代	美術	フリーランス	組合
男性	50代	美術監督 操演	その他	やはり労働組合が必要
男性	20代	映像監督 撮影 映像編集	フリーランス	欧米諸国では芸術に関わる人のためにギルドや様々な支援が存在する。日本も見習って欲しい。
女性	30代	マネージャー キャスティング	フリーランス	日本はユニオンなどの組合がないため、最前線で働くほとんどがフリーランスの映画、ドラマ、舞台の業界は本当に大変です。これを機に、きちんとユニオンなどを作り、きちんと職業として認められて欲しい、社会保障がつくことを希望します。
女性	20代	メイク	フリーランス	アメリカのようにヘア・メイクの組合があり、保険や最低限の収入などの保障があると今後このような事態になってもある程度不安は軽減されると思います。
男性	50代	照明	フリーランス	海外のような、所謂ユニオンのようなシステムを作らない限り技術や文化の伝承は望まれないと思います。業界の技術スタッフの多くはフリーランスによって支えられている、そのメリットとデメリットをこの機会に本気で考えないと、使い捨ての便利使いのままで。この事は日本全体、全職種に当てはまるかもしれません。
男性	40代	撮影・制作	フリーランス	フリーランスの立場で契約時、クライアントに万一の場合の補償を求めるのは難しい。労働組合の機関の充実と、クライアント側への配慮も必要。ミニシアターのクラウドファンディングが支援を集めているが、労働組合の設立や基金の調達もこのような形で求めらいいのではないか。
男性	40代	制作部	フリーランス	海外のように組合を作る、もしくは最低時給や労働時間を定める等、法整備が必要かと思います。映画やテレビに関して言えば、独占禁止法違反にも関わらず、法整備がされない現状では、スタッフ、キャストの生活が良くなる事は無いと思います。
女性	40代		フリーランス	労働組合が無い。契約書しか無いが、契約書の内容も……言いなりです。
女性	30代	デコレーター	フリーランス	補償など、組合が欲しい。
女性	30代	キャスティング	契約社員	私は会社員なので幸い今のところは守られています。ですが多くのフリースタッフや役者があって成り立っている業界です。こんな時こそエンターテイメントは必要で、必ず復興の力がなれると思います。今回の事態で廃業を考えている人がいるとしたらセーフティネットが必要なのではないでしょうか。ユニオンを作ったり、スタッフや役者を守る制度を今こそ考えるべきであると思います。
男性	40代	代表	会社役員	この現状を一つの機会として、『きちんと機能を果たす』アーティストや制作陣などを護る組合や互助会のような組織づくり

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	海外の様にユニオンがあるべき
女性	40代	マネージメント	会社員	ユニオン的なものを作っていくべき。契約が曖昧で泣き寝入りしやすい。また今後もっとクリーンな協会をつくり会費を支払いこの様なことがあった場合のためにしたほうがいい。
男性	50代	プロデューサー	その他	コロナ終息後の事を話し合える繋がりが欲しい。自分たちにできる事をもっと考えたい。これまでの方法論では成り立たなくなるのは分かっているので。
女性	30代	撮影部	フリーランス	地面に座って冷たいお弁当を食べる生活はもう嫌です。
男性	50代	代表取締役	会社員	映画業界全体を把握し、より良い方向に導く様な組織が必要。
男性	30代	監督	会社員	基本的には、労働の対価として存在していい。仕事がしたい。コロナの収束を願う。
男性	30代	照明	フリーランス	少しでも早くこの仕事を再開したいです。
男性	40代	アーティスト	フリーランス	個人のマネタイズをマネージメントが一時的にでも容認した方がよいのではないかとおもます。
女性	30代	役者	フリーランス	こういう状況になった今、作品が延期になったというのは仕方がない事だと受け止めている。ただ、何が私にできるのだろう。私達に出来るのだろうと考えている。役者は何を発信したら良いのか。
男性	50代	VFXスーパーバイザー 編集 予告編ディレクター	会社員	まずは無理をしないでください その上でこの困難をどうやったら乗り越えられるか考えたいと思います
女性	30代	ピアニスト	フリーランス	エンタメ業界のこの厳しい状況は、ワクチンが出来るまでの数年間続くと思っています。文化・芸術の火を絶やさないため新しいエンタメの形が必要だと考えます。
男性	20代	照明部	フリーランス	自粛期間後、焦って中途半端に仕事を再開して欲しくない。
男性	30代	小道具	フリーランス	消え物は必ず装飾部ではなくフードさんにお願いしたい。装飾小道具は色んな物を触るのでいくら気をつけていたとしても、現場であおられるので。キャストにも安心してほしい。
女性	40代	持ち道具	フリーランス	このような職種に対して保険制度が必要なのではないかと思う。予定していた作品が中止になり、また準備に入る前だったので、会社に補償をしてもらうのはおかしいと思う。今回の件では、先行きが見えないため、会社自体も今後の存続が危ぶまれるので、それをすべきではないと思う。ただ、作品が中止になったため収入はゼロになっている。保険があれば誰も困らないのではないか。私個人はその目に遭ったことはないが、キャストの不祥事で撮影が中止や延期になったりする場合もあるので。
男性	30代	美術	その他	撮影はどうしても三密が伴いがちなので、収束が見えて来るまでは見合わせるべきだ。現状仕事は無くなってしまったが、今後も撮影自体がこの世から無くなるわけではない。辛抱強く待ちたいと思います。
男性	50代	ラインプロデューサー	フリーランス	テレビ局は政治家の責任を問うけれど、その前に自分の番組が中小零細やフリーランスに支えられている現実に対し、責任ある対応を表明すべき。
男性	40代	操演特殊効果	フリーランス	昔ながらの義理や仁義をのさばらせてはいけない
男性	50代	カメラマン	フリーランス	綺麗事を言うだけ言って無策の文化庁は世界を見習い恥を知るべし
男性	40代		フリーランス	撮影インフラが全く整っていないまま、旧態依然とした軍隊的体制と根性論のみでなんとか成立していた日本の映像業界ですが、コロナショックを機に大きく変わってほしいと思います。
男性	50代	代表取締役	会社員	配給会社やテレビ局に中間業者で終わらせるのではなく、末端の下請けまでのケアをしていただきたい！
男性	50代	撮影	フリーランス	いつまで続くのか答えが出ませんが、観客を入れての興行が困難な状況は暫く続くと思われます。無観客でも興行収入が得られる配信に良い方法が無いかと考えています。放送局の方程式が今更全ての興行に可能なわけもなく、良いアイディアは浮かばずです。でもなんとかしなくてはいけないと。。
女性	30代	ヘアメイク	フリーランス	ちゃんとした補償システム
男性	50代	撮影	フリーランス	医療機関の全ての方、命を顧みずに働いている情報を知るたびに感謝しています。
男性	50代	ラインプロデューサー プロダクションマネージャー	フリーランス	時節、辛抱は仕方がないが何ら「生きる」「働きかけた」「縁」を考えいかなければならない
男性	40代	制作部 副部長	会社員	声優さんの遠隔収録などは、録音スタッフの仕事を奪いかねないなど、テレワーク自体が他人の仕事を奪う可能性があることを理解してもらいたい。その上で出来る事を考えた方が良い。
男性	50代	ビデオカメラマン	フリーランス	この業界でフリーとして働いている方はたくさんいらっしゃると思います。このような形で収入が減るどころか、0になっています。自分の選んでいる道とはいえ、何かしら安心して仕事ができる環境が必要だと今まで考えてきましたが、具体的にわかりません。これをきに、何かしらの制度を作らないと、フリーとしてこの業界で生きていくのは難しいと思います。
男性	30代	監督 撮影 編集	フリーランス	このような事態の時に貯えがないと、続かないでの、今この期間に改めて自分達の仕事の価値を再認識しコロナが収束したあとまた以前のように仕事を安売りしていく流れが止まって欲しい。
女性	30代	録音助手	フリーランス	この業界での女性の（女性だけではないですが）働き方については私もずっと考えておりました。今回初めてこちらの団体のことを知りました。より良くしたい、その気持ちを抱えてはどうしたらいいのか、半ば諦めおりました。でも声を上げていかなければ、何も変わらないですね。応援しております！
男性	40代	制作	フリーランス	人材不足の中、労働条件の改善、金銭や時間等の確保が必須である。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	コロナ以前の仕事の請求を無視する会社も出てきてる。計画倒産としか思えない会社もあった。
男性	40代	プロデューサー 制作部	会社員	（フリーの場合）定年がないのでいつまでも働けるが、【辞めた瞬間に収入がゼロ】になりますので、貯蓄や年金などリタイア後の収入源の確保に努めてください。
女性	50代	ヘアメイク	フリーランス	こんな事が長く続くと皆んなの心がささくれだってきます。そんな時に心に感動や癒しやお水が必要な気がします。志村けんさんがそのお一人な気がします。どうぞ、回せる事願います。
男性	50代	美術 装飾 小道具	フリーランス	早期収束し経済活動再開する事を望みます。
女性	40代	衣装	フリーランス	働き方改革
男性	50代	撮影 映像	フリーランス	テレビ局や制作会社 製作委員会は利益のみであり人権の占める度合いが低すぎる
女性	30代	装飾部 美術部	フリーランス	わたしは、自ら選んでフリーランスという働き方を選んでいますが、納税の義務は果たしています。理解されにくい仕事をしていますが、テレビや映画を見たことがない人はいないと思います。私はいまの仕事が好きです。これからも誇りを持ってこの仕事を続けていくように、ご理解よろしくお願いします。
男性	60代以上	美術	会社員	ドイツの制度の様にフリーランスの身分を明確にし税金はかかるが保障を常日頃からしっかりとしたものにする。
男性	40代	監督 助監督	フリーランス	フリーランスを守るために、監督、撮影、録音等々の「協会」や大手の映画製作、配給会社が、なぜ何も動かないのか、、、疑問と憤りを感じる。
男性	30代	課長	会社員	仕方ない
男性	60代以上	監督	フリーランス	これを機会に監督の著作権を認めて欲しい。
女性	30代	制作部	フリーランス	こういった事態は初めてだがワクチンの開発等根本的な解決がないかぎり団体行動を有する業務内容上難しいと思います。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	モデル	フリーランス	人を元気にするためのエンターテインメントが、また素晴らしい形で復活することを願っています。
男性	30代	放送部	会社員	在宅勤務しやすい環境づくり
男性	40代	キャスティング	フリーランス	仕事はいつも、知り合いのプロデューサー、監督、スタッフからの口コミや紹介で頂いていた。それ以外の仕事の得方を知らない。ハローワークにいって貰えるようなものでもないし、求人誌に載ることもない。他に、仕事を探す方法があつたら知りたい。
女性	20代	制作部	フリーランス	今後、現場で生きる人たちもテレワークできる術を身につけるべきだと感じます。不安ながらの自粛生活なのでせっかくなのでいつもできないことを勉強したり、副業を考えようと思っています。怖いのは、この状況がいつまで続くかわからない、というところ。あと1~2ヶ月なら当面大丈夫かもしれません、そのあとが心配です。
男性	50代	技術制作部制作課	会社員	情報共有、コミュニケーション
女性	30代	衣裳	会社員	どの局も収録を止め、過去の作品を放送した方が良いと思います。ドラマもバラエティーも。
女性	40代	マネージャー	会社員	きちんとした、働き方改革と、休暇と保証
男性	50代	ディレクター カメラマン	フリーランス	アイデアを思いついても個人でどうこう出来る事ではないんですよね
女性	50代	事務職補助	フリーランス	正規と非正規の差が大きく、非正規の人が働いてフォローしている
女性	50代	コピーライター	フリーランス	政府へ嘆願書や意見書を出す窓口が1つになるのがほしい。映像や演劇、テレビ、アニメなどの垣根を超えて団結すべき。
女性	40代	代表取締役	会社員	応援したとして、未来に仕事がなくなりそうなので、特にコメントを思いつきません。
男性	50代	会社社長	その他	GW明けには何かしら動き出さねばならなくなるので、社会として基準を決めたい。限界まで來てる。
男性	40代	撮影部 カメラマン	フリーランス	撮影業界のフリーランスの方は全く仕事がストップしているので、みんなまとまって今人手が足りてない業界の手助けが一時期でもできれば良いですね。
男性	30代	映像部門	会社員	自分の身は自分で守るしかありません 政治・行政は助けてくれません
男性	50代	制作会社経営 プロデューサー	会社員	報道以外の番組を休止する勇気が必要ではないか
男性	40代	ビデオエンジニア	フリーランス	しょうがないかなと思います。元に戻ることを期待しますが、ダメだった時の事を早めに考える必要があると思います。
男性	30代	アクション部	フリーランス	仕事が無くなれば、基本的に何の情報も無くなるのが改善されると良いと思います。人の繋がり以外の媒体が何も無いのが、難しい。各部署同じ事が言えると思う
男性	50代	音響監督	会社員	音響制作の団体である音連は、連盟としての指針を全く出しておらず、キャスト等の要望を伝えるだけで、現場に結論を委ねている。
男性	40代	照明技師	フリーランス	日本政府には何も期待しません。
男性	30代	撮影部	フリーランス	労働基準がなく、無秩序な状態でとても先進国の労働環境とは思えません。
女性	30代	制作進行	フリーランス	代理店やクライアントが無駄に大人数で現場に来てただでさえ密度の高いスタジオの場所を圧迫している。こちらから来るなとは言えないので来るのは判断を下す最小限にとどめるように業界全体のマナーにしてほしい
男性	40代		フリーランス	ツアーTシャツ、ツアーパス等、終わったものに関してはオークション等にて現金化する事を黙認して欲しいです
男性	40代	演出	フリーランス	今は全ての業種が追い込まれているので耐える時期だとは理解しているが、映像屋は接触禁止になると働けない=無収入になる。正直どうすれば解決するのか検討も付かない。
男性	40代	録音、MA	その他	今まで撮影現場には無駄な人數の部署もあった。時代と共に淘汰されるいいタイミングになるだろう。
男性	30代	ディレクター 代表取締役	会社員	エンタメの業界は、こういう状況では切られる業界。所詮娯楽の世界なのだから、こういう事態に備えた自己防衛準備を常にしておくべき。業界全体が右往左往し過ぎ。
男性	60代以上		フリーランス	コロナに負けないイベント等について無観客イベントも良いですが、コロナに感染していないお客様+全関係スタッフに対して入り口で、厳重チェックをして全イベントをしないと、今後再生不能に陥ると思います
男性	30代	制作部 リーダー	会社員	大手芸能事務所は危機管理が薄いと感じた。自分の管理下の芸能人優先で現場のことは二の次。とりあえずやれと。
男性	40代	演出部 制作部 撮影部	フリーランス	新しい仕事の話もできるが、いつから動き出せるのかスケジュールがくまない。
男性	40代	制作部	フリーランス	映画業界は基本的にフリーランスの集合体であるため、雇い主の状況に左右されやすく弱い立場であるという以前からわかっていた問題が、業界全体が止まつたことで業界全体の問題として切实に突きつけられているのを感じています。この状態が2ヶ月3ヶ月続くようなら、体力の無い会社は潰れるし個人スタッフも生きていけなくなる。そうなれば、いざコロナの状況が好転したとしてもスタッフが集まるかどうか。一人一人が業界全体の問題として考える必要があると思います。
男性	30代	演出部	フリーランス	労働環境を改善してほしい。
男性	40代	撮影監督	フリーランス	検温や制約を設けてでも撮影をさせてもらいたい。撮影が無ければ仕事が全く無い。フリーランスで何も保証が無い事と、感染拡大の中、いつ、撮影を再開出来るのか、先が全く見えない状況に不安しかない。職業欄等でも毎回、その他扱いの為全く理解されない職種だと思うので、こういった状況になると、何をどうして良いのか全くわかりません。SNSなどを見ると、グラフィックの撮影等は未だに撮影しているみたいですが、動画だけなぜ撮影してはいけないのか。
男性	50代	代表	フリーランス	企画書を依頼した時点から課金あるべきものとして、すべてのクライアント、広告代理店、プロデューサー、特に、地方自治体のプロポーザル料をゼロで計上している事業をなくしていただきたい。アイデアを未だゼロだと考えてる時代の風潮を、コロナ禍とともに払拭していただきたいと思う。
男性	30代	演出部	フリーランス	今は中止にすることが最善策だと思うが、中には低予算で人数も少ないからと決行する仕事もあります。基本はこの業界は全体撮影などは休止にしてほしい。そして企画募集などをして、その企画が良ければその企画にお金を払ったりと現場仕事以外にもできる仕事をつくってほしい。
女性	40代	芸能事務所 マネージャー	フリーランス	仕方がないことですが、早い終息とエンタメの復活を願います。
女性	50代	代表	会社員	権利関係なくネットチケットなどで配信させてあげたかった。
男性	20代	俳優	契約社員	政府から補償がないからといって、オーディションや撮影を続行しないで欲しい。俳優は決まってしまえば行かないといけない。
男性	50代	照明	フリーランス	何分にも天災ですので、一日も早い終息と医療関係者の皆様の健闘を祈るのみです。
男性	30代	照明技師	フリーランス	白い目で見られながらこそこそこそ働くしかないですね
男性	60代以上	作演出 出演	フリーランス	安定や保険のない職種だと悟りて入ったので、個人的には今の危機も淡々と受け止めている。また、そもそもこれだけで生活が出来ていたわけではないので収入を補填しろという主張も全くありません。が、これから若い人たちについてはパフォーマンスの機会を奪われて気の毒だと思っている。
男性	30代	美術部	フリーランス	作品の企画・脚本の段階で各部署の意見を反映・精査し精度を上げ、準備、撮影、編集の無駄を早い段階で減らしていく必要がある。この段階で実現が難しい作品は準備に入る前に止めるべき。そして作品を進めのであれば当然携わる人のギャラの保証や心体の健康を維持できるスケジュールにかける予算も確保した上ですすめなくてはいけない。
男性	40代	カメラマン	フリーランス	長期化を見越した、今後の技術職の人々の存続策（方法）をクライアント（代理店）が作る（技術者の失業がはじまっている）

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	40代		フリーランス	特に映像系の仕事に関しては、撮影スケジュールをおさえる（撮影日以外の予備日も）、予定が変われば直前でもスケジュールをバラされる、というのが当たり前の業界で、スケジュールをおさえられている間は、他に副業があつたとしても、入れられないことがほとんど。もちろん補償はない。なので、コロナの影響で仕事が変更になつたりなくても、さほど驚かないというのが正直なところだが、このやり方自体を、そろそろ業界は変えてゆくべきとき来ているのではないかと思います。明日来てと言われて急に行ける、明日ナシと言われてそうですかとフラフラできる、そんな責任のない暮らし方の人種ばかりで作る作品で、なんかちょっとどうなんだ思ってはいます。コロナで仕事なくなって路頭に迷うのも仕方ないと、思うしかない。自分も含めて。
女性	30代	演出	フリーランス	現場が状況の深刻さをわかってないところがまだあります。
男性	50代	録音技師	フリーランス	事態の収束は未だ誰にも先が見えない状況なので、今は公的な助けを必要とするしかありませんが、収束しない未来の事も考えながら生活の基盤を立て直すには、新しい生き方を見つける必要もあるのでは？と思っています。ただ、クリエイティブの世界に身を置いて生きてきた身としては、クリエイティブから離れることは考えていません。今回のコロナが、新しい業務体系を模索するきっかけになったと考えて探ってみたいと思います。
男性	50代	録音技師	フリーランス	現場に於ける衛生管理、及び栄養管理をする専門家をいれる事
男性	60代以上	制作 講師	フリーランス	このままなら日本もベーシックインカムを取り入れるしかない。
女性	30代	役者	フリーランス	安心安全に撮影ができる環境
男性	50代	プロデューサー	会社員	先ずは、この状況化で利益が上がっているところ（配信事業とか）は映像業界を保持する為にも利益の分配をしなければならないではないだろうか……
男性	60代以上	監督	フリーランス	懸念と結束
男性	50代	ディレクター	フリーランス	再放送でも、放送するなら制作者へギャランティーはすべき。局は再放送や再編集が多いので。
男性	50代	取締役	その他	独立採算性が必要なのかなあと
男性	40代	プロデューサー	フリーランス	国は特に契約等のないフリーランスを守るべき
男性	50代	証明技師	フリーランス	今4/21ですが、まだ撮影現場があるのが信じられない状況ですが、先ほども30人規模の撮影してました！！ステーホームの中わけわからないです！！しかもこちらは下田市ですが、東京からのスタッフの様です！！
女性	30代	キャスト MC	フリーランス	情報共有
男性	30代	ロケーションコーディネート	フリーランス	対策をして撮影を継続させる事などを実証、検証して欲しい。
女性	30代	特になし	フリーランス	映像業界の人のための仕事情報、アイディアをやりとりできるウェブ上のプラットホーム
男性	30代	カメラマン	フリーランス	感染症などによる、イベント中止、延期などを保険に組み込み事。
男性	40代	技術	会社員	エンターテインメントや娛樂は贅沢な事で緊急事態にはそぐわないが必ず必要とされるときが来るから今は無理に外に出なくても良いと思う。再放送など、コンテンツはたくさんあるから。
男性	40代	プロデューサー	フリーランス	フリーランスへのサポートが必要
男性	40代	演出部 監督 スケジュール	会社員	放送日時の延期は昔から話されており、今回初めて導入されました。ただ、そのタイミングは決して、早いとは言えませんでした。現場をスタッフやキャストは、不安を拭きません。中途半端にマスクや消毒をして再開する事だけでも、世間の印象を悪くしたり、健康にも影響があるかと思います。それならば、保証制度などで、安心して3~4ヶ月後には、再開できる、その間のギャラ拘束などの確約が欲しいと思います。
男性	40代	演出部	フリーランス	エンターテイメントも芸術も人生には必要だが、生命の危機に瀕してまでは必要ないかもしれない。今は映画やドラマを新しく作る必要はないでしょう。しかし、近い将来また新たに人々を喜ばせる作品を作る必要がある。今は互助、補償が必要です。協会、連盟、組合（なんでもよいが）で助け合い失業しないでこの状況をやり過ごせるようにしていきたい。
女性	40代	映画の司会者 コメンテーター	その他	コロナの為に命がけで闘って頂きありがとうございます。
男性	40代	代表取締役	会社員	フリーランスが多い業界なので、横の繋がりを増やすコミュニティが増えるといいですね。コミュニティの運営は大変なのでやはりどこか資本力ある団体にお願いできればとは思いますが。。。
男性	40代	撮影監督	フリーランス	クライアントはスタッフに対して能力に見合った報酬を保証すべき。単なる動物ではなく人間として生きるのは、文化的な信念から得られる体験だと言うことを忘れないでほしい。
男性	50代	カメラマン	フリーランス	どんな形でも早く日常に戻らない限り、あらゆる現場の再開は望めない。それまでに感染しないよう淡々と自粛するしかない。
男性	40代	出演者	フリーランス	まずは行動だと思ってキャストはオーディションもそうですが、仕事が無いと事務所に掛け合っても何もありません。バイトをするにも自粛。ハローワークに行っても役場内で感染しないか心配ですし。仕事自体減ってます。
男性	50代	代表取締役	その他	3月から仕事がゼロになったが補償の支給が5月以降というのではあまりに遅い。その間に小さい会社は潰れます。今はなんとかギリギリ踏みとどまる。そういう切羽詰まった状況を全く考えていないかのような政府の対応や発信されるメッセージにはどうしても腹が立ってしまいます。
男性	30代		会社員	現場スタッフや、フリーランスの方々が守られるために援助が必要だと思います。仕事が少ないのは仕方ないですが、元に戻りつつある時に業界変革に皆がついていく様に舵取りをする組織が必要だと思います。
女性	50代	美術部	フリーランス	フリーの人間でなりたつてる業界の中で今回のようなことがあった場合私たちは本当に弱い。なんらかの変革が必要です。このままでは再開しても躊躇しています。なにか守ってくれる組織は至急かと思います。
男性	30代	プロデューサー	会社役員	まずはオンラインにおける打ち合わせのインフラ整備と一般化を業界全体で進めていきたい（会わなければ決まらない、や、大事な話は会って、というのを少し緩和していく）
女性	40代		その他	自粛か続行かが曖昧な時、公共の交通機関で移動せざるおえない者の移動手段を検討していただきたいです。
男性	40代	脚本家 演出家	その他	無料生配信に走るのはやめといた方がいい。自分たちの首を縮めることになる
女性	50代	マネージメント	会社員	私たちの業界は生きるうえで必要不可欠な職種ではないと頭ではわかっていたものの、今回のコロナの影響で、改めてそのことを実感している。一番最初に劇場などのエンタメ業界から自粛要請があったものの、保証がされていない。相次ぐ公演中止、撮影延期、この先どのくらい未収入なのか。。。自分たちを守るためにできる事のアイデアは全く浮かばないです。色々と情報を共有できる場があればそれだけでも気持ちが変わるので。
男性	50代	ロケーションマネージャー	フリーランス	感染対策などを徹底し、現場作業は継続して欲しい。また、企画の段階でも稼働出来るよう代理店、制作会社など発注元が動いて欲しい。
女性	50代	俳優 タレント	その他	どんな仕事にも共通しますが、心身共に健康であってこそ良い仕事が出来、思い遣りを持って支え合え、一緒に頑張れる現場になると考えています。しかし、何かが欠けている、または心身に悪影響を及ぼす感じる環境で、且つ暮らしていけるだけの保証も得られないのであれば、「興味」や「やり甲斐」よりも、自分と家族が「健康でいられる」事を優先し、今後の方向性を判断する時期なのではないかと。世間様から求められるだけの人材であれば、休業期間を経ても復活出来る筈、と、見えない箇に掛けられている様にも思いました。
男性	30代	ディレクター	フリーランス	日常は仕事に忙殺されており、この与えられた時間の使い方が見つからない。
男性	40代	俳優	契約社員	映画や作品は命がけでつくってます！映画館や劇場が閉鎖になってしまってはつくっても意味がなくなってしまいます。自粛しながら観ていただく環境を整え価値のある作品をつくって生きたいです。
男性	40代	プロデューサー	会社員	日本の映像業界は既得権がガチガチなのでここらで変革してほしいです。制作から配給上映まで、ほとんど独占禁止法に抵触しているようなこの状況は壊れてほしい。小さい制作会社がちゃんと努力したことが報われる業界にしてほしい。今まで苦労するのは小さな制作会社や守られていない個人。手柄は大手というなんともアンフェアな状態になっていると思います。
男性	30代	プロダクションマネージャー	その他	誰がどのような仕事をしていて、どのような仕事を今後していきたいのかがわかるコミュニティなどがあるといいです。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	30代	俳優部	その他	撮影がしたいです。仕事がしたいです。けれどそれも皆さん一緒にいます。我慢しかないんですね。不安定な中でも前に進めようと動いてくださる他の部署の方々、今も働く方々、ありがとうございます。よろしくお願いします。早くこの事態が収束し、そして安定した支援がこの業界にも回ってきますように、と願って自宅にいます。
男性	20代	助監督	フリーランス	超低予算作品・番組の権威が必要です。正規のギャラを支払えないような企画はいかなる理由があろうとも諦けずに、権威していくことを目指すことが、フリーランスのスタッフまたは制作現場の質向上につながると思います。また、今回に限らず国には頼れないので、貯金が大事ですね。
男性	40代	俳優 字幕翻訳	フリーランス	しかたない、時代が悪かった、で終わらせない心でいたいと思います
男性	40代	バラエティ制作 部長職	会社員	日テレやTBSのように、収録ロケ一切しないとむしろはつきりして欲しい。新規立ち、でも感染対策しっかりしろ、は無理。
男性	30代	映像編集	フリーランス	リモートワーク（テレワーク）の一般化
男性	50代	ナレーター	フリーランス	誰かに何かを伝えるためには「映像と音」が1番です。表現者を守らなければ、本当に伝えたい事は伝わらなくなってしまいます。そしてその表現者はホンモノでなければならない。
男性	30代	サウンドデザイン リレコーディングミキサー MAミキサー	フリーランス	映画に関してはCM・番組などと比べると、もともとかなり安いギャランティで長期拘束されているにも関わらず、組が中止になってしまっても補償されない事がほとんど。（少なくとも仕上げに関しては、現場は補償があるという話も聞くことはある）CMや番組と違って一つの仕事が飛ぶと1~2ヶ月スケジュールが空いてしまうこともあるのに、業界全体として補償意識が低すぎる。きっちりと「半年以内の中止・延期は50%、3ヶ月以内は70%、1ヶ月以内は全額」など、業界としての基準を設けてほしい。実際、自分は映画の仕事は今後断ろうかと検討している。コロナをきっかけとして、そのあたりも見直してくれないと、本当に優秀な人が残っていかないように思う。また、それぞれの役職の基本賃金も明確にしてほしい。基本的にギャラに関しては事後相談の場合がほとんどなので、安い金額を言われても受け入れざるを得ない。呪文のように「今回予算ないので、、、」と言ってくるプロデューサーは、金を集めるのが仕事の役職でその台詞を吐くということは「自分は能無しなので」と言っていると思ってほしい。少なくとも自分は「今回音うまくいっていないので、、、」なんて恥ずかしい台詞を言つた事はない。
男性	30代	カメラマン TD	会社員	融資では持ちません。数ヶ月も仕事が止まった分を仮に借りられたとしても、返せる目処が立ちません。
女性	40代	ヘアメイク	フリーランス	仕事の延期、キャンセルはこのような状況の中しょうがないと思っています。フリーランスの支援金を受け取るにあたって手続きなどのアドバイスをいただきたいです。
女性	50代	制作部	フリーランス	フリーランスに補償を求めるのはフリーランスになった意味がないと思います。
女性	30代	撮影部	フリーランス	業界人向けの保育園があると良い
男性	50代	ナレーター 声優 舞台俳優	フリーランス	オンラインでできることに限りがあるので、どうしたらいいかわからない。
男性	50代	ディレクター	フリーランス	ネット動画をもっとプロに発注してもらいたい
男性	30代	特になし	フリーランス	直接お客様に会えないなら、会えないなりに舞台のライブ感をお客様に味わってもらい、しっかり収入につなぐができる方法を考えています。ライブ配信等での投げ銭システムもありますが、一回の公演で得られるものにしては少ないですし、あくまで収入の補てんをする手段という位置付けになってしまいがちです。ライブ配信等も活かしつつ今後の活動に繋げるために、今、どんなことをすべきかをしっかりと考えないといけません。精神論だけではなく、現実問題として。
男性	40代	俳優	その他	今のこの業界、一度根底からぶつ壊された方がいい
女性	50代	役者	フリーランス	動いてる現場と動いて無い現場の把握が個人で難しい把握出来たら動きようがあるのに、とも思います
男性	50代	ディレクター	フリーランス	代理店一制作会社一フリーランスという仕事の流れはますます減っていくでしょう。それぞれのポジションの長所を生かして、個人商店として仕事を受注できるスキルを身につけないと、映像業界で生き残るのは至難の技です。
男性	40代	映像部2課 撮影	会社員	テレビ局や映画配給会社からの支援、補償等
男性	40代	演出	フリーランス	これまで毎日が忙しくアウトプットが続いていました。今はライブや劇場など現場は閉じられていますが、家で楽しめる多様なプロダクツやネット等で、子供の頃のようにインプットしまくります。まずは自らが、この世のエンターテインメントにおけるトピキリなゲストである事を、喜びを、再び取り戻そうと思います。
女性	30代	マネージャー	フリーランス	エンタメ業界に特化した保険制度の設立
女性	60代以上	役者	フリーランス	無くてはならないものだと思います
男性	50代	会社経営	その他	今準備できること、自分と対峙する事
女性	50代	音響 音楽	フリーランス	とにかく死なないこと
男性	60代以上	演出 プロデュース 撮影	フリーランス	お仕事掲示板など欲しい。
女性	30代	経理 講師	その他	日常では、彼らや彼女たちの演じる非日常に陶酔して消費しているのに、こういった非日常の世界になった途端に切り離されるのはおかしい。芸能一本でやれている子は2割程度、アルバイトや仕事をしながらがほとんどではあるが、そのアルバイトすら働けなくなり不安を感じていると思う。日雇いバイトみたいな仕事で、ほとんど保証はないにも関わらず、クライアントのイメージを守るために生活の規制や責任も多い中、保証がなさざるを得ない。私は、講師とモデル事務所で経理の派遣を掛け持っているが、最前線で活躍する子のサポートをしている仕事である。こちらも保証がない。幸い、経理は在宅ワークが可能で、仕事量が減っているものの続けられている。講師は、オンラインに移行していくようではあるが、そのための機材を購入する必要が出てくるので、そういう支援もあるといい。また、講師料も単発の割に安いので、それなりに基準があるといい。
女性	40代	製作	その他	エンターテインメントは確かに生活に必須のものではありませんが、同時に人々の心を豊かにするものです。今後コロナ不況になれば尚更、必要です。
男性	40代	ディレクター	フリーランス	体調を崩しても無理をして働いていて、業界内でも感染が広がっていると思う。休むということを言い出しゃやすい雰囲気、当たり前になつてはしない。
女性	40代	スーツアクター	フリーランス	エンタメの仕事をしないと自分がどんどんすさんでできるのが分かります。早く子供たちを笑顔にしたいです。それを見て我々も笑顔になれんです。いつかまた出来ると良いなと、諦めかけていますが、まだなんとか耐えています。
男性	40代	スタジオマン	会社員	感染予防対策も必要だが、しっかりと栄養のある食事を摂り、体力を付けておく事も必要
男性	50代	照明機材レンタル 社員	会社員	不要不急の外出制限で皆さん大変だと思います。とくに未就学児の子育て問題、仕事に出られない。収入がない。フリーランスのかたはとくに八方塞がりな状態だと思います。支援金が入ったとしても普段の生活費には到底届かない金額ではありますか、とにかく急いで届けていただきたいです。自分は今は会社員で、減給こそされますがお給料はいただける状況です。しかし会社はいわゆる中小企業です。感染者の数が減らずに自粛延長になった場合はこの先お給料の不払い、若しくは会社倒産の可能性も否めません。今は頼れるところに頼って外出・人ととの接触を極力控えて生活するしかないでの、しばらくは我慢して生きていかなければなりません。もし全国の感染者率が下がって社会機能がもとに戻っても、仕事・収入などにまだまだ影響は残ると思いますが、それは追々考えていくしかないですね。もっと長期的に考えていかなくてはいけない問題だと思っています。
女性	40代	声優 ナレーター 司会	フリーランス	大規模、中規模、小規模、すべてのイベントがなくなり、途方に暮れる中、何の保証もない状態で生活して行かなくてはならない。浮き沈みの激しい業界なので、貯金もなく、子供もいるので完全自宅待機もしてられない。自分たちは仕方ないと、子供達の生活は守ってあげなければならない。家のローンも、まだかなり残っているので、これもお支払いして行かなくてはならない。なりふりかまつていられないでの、副業検討、年齢もあり、なかなか採用されません。ほんと死活問題です。ただただ、今はうつらない、うつさない！を徹底するため、うがい手洗い、マスク、適度に運動を心がけています。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
男性	30代	ビデオエディター	会社員	色々と理解されない事が多く不安しかありませんでしたが…家で出来る事をさぐり映像について自分は勉強をしています、こんな時こそSNSなどを使い同じ職種の人達と話をするだけで気持ちは変わると思います。
男性	40代	俳優部	フリーランス	若い芽を摘まないで欲しい
女性	40代	代表取締役社長	会社員	テレビ局には再放送分の利益再配分を求める。出演者、制作者、技術者とテレビ局は権利の持ち方を見直す必要がある。
男性	30代	代表取締役	会社員	国とウイルスの戦争です。判断の速さを求められます。普段から納税義務を課している自国民の信頼の担保を逃げて減らさないでください
男性	40代	制作	会社員	現場は疲弊して、上層部が口を出すだけのシステムに無理がある。上が現場の人間のリスクを理解していないので、今の現実がある。
女性	40代	代表社員	その他	イベント業と言ってもMC司会者で、一人会社で末端の下請けのためフリーランスと同じ状態です。オンラインでの仕事も考えていますが、ニーズのあるクライアントの開拓からしなくてはならず、売り上げに結びつきません。一人では限界があるので、この業界のコミュニティをつくり情報交換できる場が欲しいです。
男性	30代		会社員	絶対コロナにはならない
男性	10代	なし	フリーランス	所属事務所から、演者へ出演前に健康管理報告提出と判断、衛星用品の支給。罹患した場合の出演料保障と、通院入院費の保障。
男性	40代		フリーランス	防塵マスクをする必要があるシビアな現場に行ったことがあるカメラマン等や専門家に話を聞ける機会があると良いと思います。
女性	50代		フリーランス	この事態になって、舞台という架空の物を魅せている職業なのに、裏方がどんな仕事をしているか伝えなければいけない、それが悲しいです。元に戻った時に、夢の世界、架空の世界に引き込まれる作品を創らなければならないと思った。
女性	30代	演技部（俳優）	会社員	今この不安な状況で、最前線で働く皆様は本当に尊く思います。私達の活動は演劇の為にまさに今動けないところにあります…動画などで少しでもお気持ちが気が紛らわせられるものがあれば良いなと思います。
男性	60代以上	代表者	フリーランス	早期の回復を期待するが、変な規制が残らない事を願う
男性	40代	制作部	フリーランス	しっかりとした契約形態の仕事のあり方を模索して、それに伴うフリーランスの仕事のあり方も変える必要があるかと思います。
男性	30代	エンターテイナー	フリーランス	キャストがユニバーサルほにやらジャパンなどの契約相手の会社に対して、クビになるのが怖くてどんな扱いをされても何も言えないような環境に置かれているのを改善してほしいです。
男性	30代	カメラマン	フリーランス	今まで「仲間」と言ってくれていた、仕事をしてきた会社に、フリーランスは自業自得と言われ切られてしまい、本心では下に見ていたのがわかつて辛かった。
男性	40代	音響 事務	会社員	収束するまで出勤しない。集まって稽古しない。会議をしない。舞台でも映像でなにか世の中にできることがあるならする。とにかく収束するまで生きていなければどうにもならない。
男性	20代	ホールスタッフ	その他	緊急事態宣言の説得力
男性	30代	俳優 裏方アルバイト	フリーランス	本職の俳優もアルバイト表方も裏方も全て芸術に関わる仕事で生計を立てていたので全滅でした。例えば、受付補助などは我々演劇界の中で得意な人もいるかと思います。希望者にはなりますが、医療に直接お手伝いはできないものの、検査の際に臨時に受付などできるかとは思います
男性	50代	ビデオエンジン	フリーランス	ウイルスが問題である以上、誰の責任でもなく、個人の努力だけで現状を変える事は出来ないと感じている。周囲に注意をはらしながら自己防衛並びに拡散防止に努めて早期解決を祈る事しか出来ないのであろうか…戦って頂いている医療関係者、政府関係の方々、有難う御座います。
男性	50代	プロアディレクター	フリーランス	どこもこんな状況だから仕方ないと諦めず、こんな状況の中でも仕事や自身を守り続けていく方法を模索していく
男性	50代	舞台美術製作 舞台監督	フリーランス	舞台技術者はアーティストさんにしか救えないかも。いつしょにこれから「舞台芸術」の在り方を考えたい。
女性	30代	制作	会社員	このまま今まで通りの工程で撮影できるとは思えません。映像業界のシステムを変えないといけない気がします。制作会社はクライアントや代理店に逆らえないでの自分の健康を守れないと判断した場合は退職したいと思います。
男性	40代	フリーランス	フリーランス	世の中の雰囲気次第で再開のタイミングが見えなくなってしまって事に強い危機感を持っています。仮に非常事態宣言が解かれても、再開出来ないのでは無いのか。ドイツの首相の様に、「人は芸術が無いと生きていけない」くらいのインパクトのある発言が出るとありがたい。
女性	50代	ライブハウスオーナー	その他	ライブ、音楽、全てを自粛の報道で差別的な目にあった。ライブも音楽も種類があるので、もっと実態を見て欲しかった。
女性	50代	演劇制作 俳優のマネジメント	会社員	人を集めることでしか成り立たなかった興行というスタイルは、変えようもなく…VRのメガネをかけねばいいのかと…いう話でなく…映像の配信では伝わらない空間共有がないことには…コロナ後の世界を考える時、また人が集まるようになることを願うしかないです。制度としてはフランスのように、年に何ヵ月か舞台芸術で働きば次の稽古が始まるまでの空いている期間は失業保険が出るように、とか、そうなればいいなとは思います
女性	40代		フリーランス	なんとか新しいコンテンツのチャンスかとは思います。フルデジタルのコンテンツは、出来そうな気もしくもないが、実写映像は、問題点が多い。撮影という業務が、なかなかに難しい。あと1ヶ月は少なくともかなり慎重な期間とは思うので、問題はその後どうするか。もしここれまでの効果が出ていたとしても、すぐに元に戻らないであろう中で、何ができるのか、考え出さなくてはならないかと。世の中にはダイレクトに失業につながってしまった方々への対応にまず追われますから、おそらくそこまでにならないでいる我々は考え工夫する事は出来るのではないか。しかし映像業界だけの問題では勿論ないので、本当に難しい。。。とにかく今は、1人でも感染者が減りますように。
女性	50代	俳優 指導	フリーランス	災害や社会が困難になるといつも、私たちの仕事って何なんだろうと感じます。文化や人間らしさを守り培う仕事の苦なのに、真っ先に要らない仕事なんだと感じさせられます。大事な日本文化を守りたい、先輩から教わった技術や知識を後輩に引き渡したい、こんな誇りに思える仕事は無いはずなのに。好きな仕事には、リスクが付き物なのでしょうか？生き残れるのも、運なのでしょうか？才能のある人が減ると思うと残念です。
女性	40代		フリーランス	子供がいる女性は何故非難されなければならないのか？何故子供がいる事を謝らなければならないのか？子供がいる事で信じられない言葉を浴びせられる。コロナも手伝って今後更に仕事が減るだろ。
男性	50代	プロデューサー ディレクター	会社員	何かあると、エンターテイメント業界が真っ先に自粛しろと言われるのは分かるが、もっと自粛すべきところが自由にしているのは、納得できない。
女性	40代	編集	フリーランス	フリーランスが法的に守られていないことで、制作現場では不利な条件でも仕事をせざる負えないことや、今回のような場合、フリーランスに対しては現在や今後の保証が制作側からは一切提示されない。常に現場の技術者の立場は弱く不利であるという現状。映像系の組合が既存なのも知っているが、何も機能していないのが問題。
女性	50代	脚本家 演出家	フリーランス	スキルを保ち続けることでしか現役でトップでいることはできません。舞台という生でないといけない業界や映芸能を、映像化や配給方法などで支援がほしいです。
男性	20代		フリーランス	生活補償金、収束した際の可能な限りの開かれたオーディションや案件、リハーサル代を支払う土台を作らない改善はされない
女性	30代	役者	その他	今はYouTubeチャンネルを頑張っていますが、それは収入にはならないので不安ですね。撮影をするには余りに危険な時期だと思っています。
男性	50代	ヘアメイク	フリーランス	今はまだ何んとも言えないです。
男性	40代	美術制作	会社員	声を上げことを責めないで欲しい。
男性	60代以上		フリーランス	政府が補償しないなら感染拡大を収束させるために、そちらに税金を使ってもらいたい。どちらも中途半端にやるのはもうやめてもらいたい。いまさらあんなマスクを返品したりまた発送するとかそんなことに時間と金をつかわざりやんしてもらいたい。あんなマスクで感染拡大は防げない。
男性	30代	カメラマン	フリーランス	配信業務を増やすで欲しい
男性	50代	助監督	フリーランス	命の次に大切なものは何かを考える
女性	20代		フリーランス	頑張ってください。ただ、必要のない報道などは控えていただきたい。そういうものを聴覚者が必ずしも求めているわけではない。
男性	60代以上	映像制作部 取締役プロデューサー	取締役	創意工夫し前向きにやる。
男性	40代	制作部副部長	会社員	能力格差、情報弱者などが発生しているのでより会社の上層部は社員の把握に努めるべき。また社員育成という部分もしっかりと見直すべき。

性別	年代	部署・役職	業務形態	自由記述
女性	50代	ヘアメイク	フリーランス	ヘアメイクの協会がほしい
男性	40代	ディレクター プロデューサー	会社員	少しでも感染リスクがある業務を行う時は、必ず事前に上長の許可を取りましょう。業務は全て会社からの依頼です、「自分がやらなきゃ」と勝手に忖度する必要はありません。
男性	50代	編集 合成 CGI	フリーランス	一部の仕事では版権・著作権を扱うという理由で、在宅やリモートを拒むクライアントがある。その場合、一箇所に集まって作業をしなければならない。
女性	40代	ディレクター	フリーランス	補償については、「一部でもお願い出来ないか」を、委託元に聞いてみた方が良いと思います。言われて検討する、という委託元・企業が多いのではないかでしょうか。
男性	40代	制作主任	フリーランス	元請け正社員の業務を労基法に合わせるためのしわ寄せが、フリーランスに来ることを元請けが当たり前に思っている仕組みは変えていきたい。他の業界（建設業など）に比べ、映像業界は元請けの責任ある立場の人々が、あまりにもコンプライに無理解もしくは無知だと感じる。またフリーランス自身の遵法意識や、確定申告・セイフティーネットの情報を相談できる助け合いの仕組みを模索する必要を感じる。
女性	50代	美術 デザイナー	フリーランス	今現在仕事を失い、生活費にもこと欠くスタッフ・キャストが多いと思います。また、高校生や大学生などを抱える人たちは、本当に先行きが見えない中で本当に不安に思っていることと思い、実際に辛い気持ちでいます。私自身は老後に向けてそろそろきちんと考えなければ、と思った矢先なので、この先のことは不安ですが…公的給付や助成金をきちんと受ける、まずはコロナに感染しないようにじっと我慢の時なのかと思っています。とにかく生き延びましょう。若い人たちのことを考えると、自分自身も子育て中は本当に大変だったので、今後の公的資金でカバーできるのか？とても心配です。また今後のこと…今まで子育て中のスタッフ・キャストに対するケアはほぼ個人的努力でしか解決されませんでした。これを機会にその辺のフォローを公的支援も加えて、制作会社や各団体で真剣に考えるべきだと思います。音楽演奏家などのユニオンにはベビーシッター制度（有料だそうだが、補助もある）などがあると聞きました。現在このような目に見えない恐怖の中、ただできえ不安定な個人事業主である私たち…今後の業界の動向も大変心配です。そんな中で安心して自分自身、家族を守れる状態で仕事ができる環境作りしていかなければ、これを機にこの業界を去る若い人たちはますます増えるかもしれません。では、どのように動けばいいのか？具体的には、撮影所や作品単位で保育者、指定産業医などの完備など、職能組織（映画職能連合）と協議し、映画会社、制作会社などへの提案と国への訴え（公的資金援助）でいくことでしょうか？しばらくは疲弊してそれどころではないかもしれません…若い人たちがどのようなサポートが必要か？どんどん発言していく必要があると思います。
女性	60代以上	俳優	劇団員	あまりに社会的地位が低い。好きでやってるからと芸術の価値を認めない。
男性	40代	監督	業務委託	私はたまたまこのタイミングで過去作品の印税が入ってきて、どうにか凌げています。他のスタッフにも、今放送しているようなドラマの再放送などの際に、相応の報酬が入る仕組みができないものかと思います。ただこういう声をあげればTV局や映画会社から煙たがられ、仕事の減少につながるだろうということもわかります。
男性	40代	俳優	フリーランス	現場に出る人たちは、元からそうであった為、現場に入る前に金銭契約しないような働き方を選ばざるを得ず、それが結果として、業界全体の首を絞めました。コロナの為にその危うい形態がパンクすると思います。是非この機会に、サステナブルな形態で、将来のある業界にする必要があると考えています。
男性	60代以上	衣裳をメインとした タイアップ業務	フリーランス	この文化をコロナで途絶えさせないようにしたい。関係者の皆さまと力を合わせてなんとかさせたい。
男性	40代	プロデューサー	会社員	働き方含めた業界の常識を変える時期かなと
男性	30代	俳優	契約社員	日本の芸術に対する支援、理解が少ない、こんなやり方だと良い人材も育たないし希望が持てない
男性	30代	演出部	フリーランス	ギャラの規定を遵守して欲しい。予算によって人件費を削られる。3ヶ月先などの仕事でスケジュールを押さえられ、直前で合流中止、延期などになつても何の補償もない
女性	40代	照明部	フリーランス	フリーランスは自由にやりたいからなったのではないということ